

事業名：地域連携普及推進事業

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略			
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策			
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（高校生以上）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民（高校生以上）	人	105,675	106,056	106,056	106,305
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

「地域福祉活動者研修会」の開催を通じて、市民が身近な住民同士による助け合い活動の大切さを学び、地域福祉活動の向上が図られるよう、実施主体である江別市社会福祉協議会への財政支援を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 講座開催回数	回	1	0	0	1
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

講座の受講を通じて、住民による助け合い活動を支える「地域福祉の人材育成」の増進が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 講座参加者数	人	47	0	0	100
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	381	384	387	380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	下記の事業において江別市社会福祉協議会に対し補助金を支出 ・「社会福祉協議会補助金」 ・「社会福祉センター運営費補助金」	人件費事業

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域福祉活動支援事業

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・自治会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2	自治会数	自治会	161	163	163	163

手段（事務事業の内容、やり方）

「愛のふれあい交流事業（2事業）」を実施する自治会への助成並びにボランティア団体・個人への活動資金等の助成や連絡調整を行うボランティアセンターの安定的な運営により地域福祉活動の推進が図られるよう、実施主体である江別市社会福祉協議会へそれらの費用の一部を財政支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	愛のふれあい交流事業（2事業）の実施延べ自治会数	自治会	183	183	183	183
活動指標 2	ボランティアセンター登録人数	人	1,621	1,628	1,621	1,628

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域福祉活動を実施する自治会を増やすとともに、ボランティア団体の活動を支援し、その活動を活発にする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	愛のふれあい交流事業の実施自治会割合	%	65.2	63.8	65.2	63.8
成果指標 2	ボランティア活動の延べ実施人数	人	9,163	8,355	9,163	8,355

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	387	380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	下記の事業において江別市社会福祉協議会に対し補助金を支出 ・「社会福祉協議会補助金」 ・「社会福祉センター運営費補助金」	人件費事業

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：民生委員連絡協議会補助金

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市民生委員児童委員連絡協議会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	民生委員数（定数）	人	248	248	248	248
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市民生委員児童委員活動費等補助金交付要綱」に基づき、江別市民生委員児童委員連絡協議会に対し、活動費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	9,455	9,622	9,622	9,622
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民生委員児童委員の資質・知識・技能の向上が図られるとともに、民生委員児童委員相互の円滑な連絡調整が促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	民生委員の研修会参加延べ人数	人	621	358	621	621
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	9,455	9,622	9,622	9,622
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	10,218	10,391	10,396	10,382

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	江別市民生委員児童委員連絡協議会の活動費（事務局費、研修費、地区民協運営費など）の一部に対し、補助金を支出	江別市民生委員児童委員連絡協議会への補助金 9,622千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：社会福祉協議会補助金

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略				
取組の基本方針	01 地域福祉の充実		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市社会福祉協議会

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 一般会員数	世帯	38,395	38,360	38,667	38,470
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市社会福祉協議会の運営費のうち、次の経費について補助する。  
 ①基盤的なものとして、事務局人件費（全額）、事務諸費（一部）  
 ②地域福祉を充実させる必要から、特例的に、愛のふれあい関係事業、ボランティアセンター運営費（一部）の事業費  
 ③季節保育園運営費（人件費全額）  
 補助金等の根拠：江別市社会福祉法人等助成条例  
 補助対象：江別市社会福祉協議会  
 補助率等：上記のとおり

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	91,510	91,392	99,822	100,180
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域福祉を担う社会福祉協議会を広く市民に周知し自主自立的な活動が行われる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 社協に登録するボランティア団体数	団体	55	60	60	65
成果指標 2 社協登録ボランティア団体の構成員数	人	1,451	1,446	1,451	1,446

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	91,510	91,392	99,822	100,180
正職員人件費 (B)	千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)	千円	93,035	92,929	101,370	101,700

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 江別市社会福祉協議会の運営費のうち、次の経費の全部または一部に対し補助金を支出。 ①基盤的なものとして、事務局人件費、事務諸費 ②地域福祉を充実させる必要から、愛のふれあい関係事業、ボランティアセンター運営費 ③季節保育園運営費	江別市社会福祉協議会への補助金 100,180千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会福祉センター運営費補助金

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市総合社会福祉センター

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	対象施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市社会福祉協議会が所有する福祉センターの管理運営に要する経費について補助する。  
 補助金等の根拠：江別市社会福祉法人等助成条例  
 補助対象：江別市総合社会福祉センター  
 補助率等：センター運営に要するすべての経費（施設設備の管理事務費、光熱水費、維持修繕費、保険料、委託料、賃借料等）から運営に伴って生ずる収入（センター使用料等）を控除した額とする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	25,038	24,267	24,526	24,551
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

補助により、福祉センターが円滑に管理運営できるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	福祉センターが休館日以外に利用できない日数（年間）	日	2	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	25,038	24,267	24,526	24,551
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	25,801	25,036	25,300	25,311

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	江別市総合社会福祉センターの管理運営に要する経費（水道光熱費、清掃・施設管理費委託など）に対し補助金を支出	江別市社会福祉協議会への補助金 24,551千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ふれあいワークセンター管理運営事業 管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ふれあいワークセンター

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	10,826	11,008	11,568	11,775
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の適切な維持管理・運営により、利用者サービスを維持向上させる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	10,920	11,361	11,598	11,805
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	11,301	11,745	11,985	12,185

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	指定管理者として、シルバー人材センターへ委託する。	指定管理料	10,189千円
		指定管理料以外の清掃委託料	1,586千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 民生委員活動支援事業

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市内9地区の民生委員児童委員協議会
- ・民生委員推薦会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	民生委員児童委員協議会数	協議会	9	9	9	9
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・「江別市民生委員児童委員活動費等補助金交付要綱」に基づき、民生委員児童委員協議会に対し、活動費の一部を、予算の範囲内で補助する。
- ・民生委員児童委員の委嘱・解嘱に伴う推薦会を開催する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	16,708	16,708	17,240	17,240
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民生委員児童委員協議会の安定的運営が図られ、民生委員活動の維持向上が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	相談・支援・訪問・連絡調整等の回数	回	23,434	21,997	23,434	21,997
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	16,718	16,921	16,786	17,311
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,922	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	18,243	18,843	18,334	18,831

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内9地区の民生委員児童委員協議会の活動費（民生委員活動費、地区民協活動推進費など）の一部に対し補助金を支出。</li> <li>・民生委員推薦会の運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区民生委員児童委員協議会への補助金 17,240千円</li> <li>・推薦会運営費（委員報酬や会場費等） 71千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ボランティア人材養成事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	01 地域福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（奉仕員を志望する市民）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

手話奉仕員養成は、入門から通訳者養成までの3コースを設定し、週1回概ね8ヶ月間の講座を開催する。  
 要約筆記奉仕員養成は、養成1コースを設定し、週1回概ね3ヶ月間の講座を開催する。  
 点訳奉仕員養成については、基礎・応用の2コースを設定し、2年間で点訳できるレベルを目指し、月2回、1年間の講座を開催する。  
 朗読奉仕員養成は、朗読の技術研修を初級、上級コースを設定し、1年間実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	講座の開催回数（4講座延）	回	161	160	159	159
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

手話・要約筆記・点訳・朗読それぞれの技術を身につけた専門的なボランティア活動を行えるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	講座の修了者数	人	98	98	98	98
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,056	2,056	1,992	1,756
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,819	2,825	2,766	2,516

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	聴覚及び視覚障がい者ボランティア人材養成のための講座開講	手話奉仕員養成事業 1,120千円 要約筆記奉仕員養成事業 157千円 点訳奉仕員養成事業 236千円 朗読奉仕員養成事業 243千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：成人検診推進事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進			
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職場等で検診を受ける機会のない20歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	職場等で検診を受ける機会のない20歳以上の市民の数	人	45,517	46,066	46,654	47,042
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周病検診、健康診査等を行う。子宮がん検診は20歳以上を対象に行い、それ以外の検診は40歳以上を対象として、個別検診、集団検診を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	検診実施件数	件	19,870	18,851	13,137	18,519
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

がん検診等を受けることにより、疾患の早期発見・早期治療が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	がん検診平均受診率	%	14.9	14.1	10.8	12.4
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	74,753	71,951	79,361	84,400
正職員人件費 (B)		千円	16,017	16,143	16,256	15,964
総事業費 (A+B)		千円	90,770	88,094	95,617	100,364

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託によりがん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、歯周病検診、健康診査等を実施</li> <li>早期検診、土・日曜日検診の実施</li> <li>保健センターでのレディース検診では、子宮がん検診、乳がん検診を実施（託児あり）</li> <li>集団検診の電話受付及びweb予約受付や受診勧奨等の事務委託</li> <li>胃がんバリウム検診エックス線検査の他に内視鏡検査を令和3年度より実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤報償 2,302千円</li> <li>がん検診等委託料 78,078円</li> <li>がん検診・歯周疾患検診受診勧奨通知経費 1,848千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	対策型検診として胃がんバリウム検診エックス線検査の他に内視鏡検査を令和3年度より実施する。集団検診は会場内の感染予防対策に努め、予約時間毎の受診者人数を見直し、ソーシャルディスタンスを保ち実施する。

事業名：高齢者予防接種経費

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策				
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

①高齢者インフルエンザ予防接種：65歳以上の方及び60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいのある方（障がい等級1級又はそれに準じる方）。  
 ②高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種：年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳又は100歳となる方及び60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がいのある方（障がい等級1級又はそれに準じる方）。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	高齢者インフルエンザ対象者数(10月1日現在)	人	35,496	36,241	36,295	38,743
対象指標 2	高齢者肺炎球菌ワクチン対象者数	人	8,076	5,670	5,974	5,782

手段（事務事業の内容、やり方）

接種期間、接種料金を決定し、ポスター・広報等により市民周知を行う。  
 対象者で接種を希望する方は、医療機関に予約し接種を受け、市は医療機関からの請求に基づき委託料を支払う。  
 ①高齢者インフルエンザ予防接種：接種期間R3.10上旬～R3.12下旬  
 ②高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種：接種期間R3.4.1～R4.3.31  
 ※平成26年度から平成30年度にかけて65歳以上の全市民に個別通知を実施し、平成31年度以降は65歳以上(5歳刻み)の未接種者のみを対象として通知する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	広報等市民周知回数	回	10	9	9	9
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

予防接種の必要性を理解し、ワクチンを接種することで、インフルエンザ及び肺炎球菌感染症の発病及び重症化を防ぐ。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	高齢者インフルエンザ接種率	%	44.2	46.9	55.2	45.2
成果指標 2	高齢者肺炎球菌ワクチン接種率	%	36.8	20.2	21.4	20.9

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費(A)		千円	63,345	57,364	56,686	62,604
正職員人件費(B)		千円	4,195	3,459	3,483	3,421
総事業費(A+B)		千円	67,540	60,823	60,169	66,025

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	予防接種法に基づく高齢者等に対するワクチン接種 接種内容のデータ入力委託 ポスター・広報等による市民周知	医療機関に支払う接種委託料 データ入力委託料 事務費（周知文書等作成費、郵送等）	61,343千円 326千円 750千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：健康づくり推進事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり					
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策	(1) 健康増進活動の推進					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民  
地域健康づくり推進員

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2	地域健康づくり推進員事業実施回数	回	43	53	30	56

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・生活習慣病予防や健康づくりを目的とした講演会の開催。
- ・食生活改善推進員、地域健康づくり推進員、健康づくりサポーターなどの活動支援。
- ・こころの健康づくり事業の開催。
- ・えべつオリジナルリズムエクササイズ「Eーリズム」普及啓発。
- ・『江別市地域健康づくり推進事業補助要綱』により、地域健康づくり推進員が地域において健康づくりに関する事業を実施した場合、予算の範囲内で1事業に対し10万円を限度に補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	こころの健康づくりや生活習慣病に関する講座、教育、相談の実施回数	回	660	603	599	740
活動指標 2	補助金額	円	268,000	317,430	240,000	330,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

食生活の改善や運動など健康づくりに取り組む市民が増える。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数	人	10,736	6,453	1,869	4,840
成果指標 2	補助事業参加者数	人	1,226	1,086	389	800

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	7,328	6,396	7,371	7,098
正職員人件費 (B)		千円	40,804	29,979	30,190	28,127
総事業費 (A+B)		千円	48,132	36,375	37,561	35,225

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の健康づくり講演会、ゲートキーパー養成研修、地域ゲートキーパー教育</li> <li>・地域健康づくり推進員事業（ウォーキング、ノルディックウォーキング、運動教室等）</li> <li>・Eーリズム普及事業（市民向け講座、地域での講習）</li> <li>・食生活改善協議会による健康づくり食育活動（ふれあいレストラン、野菜摂取促進啓発事業への協力）など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり推進事業非常勤職員報酬</li> <li>・講師謝礼等一般報償費</li> <li>・生活習慣病予防等健康相談経費</li> <li>・食生活改善協議会等委託料</li> <li>・健康づくり推進事業補助</li> <li>・相談先一覧カード等印刷製本費</li> </ul>	<p>2,805千円 728千円 2,514千円 322千円 330千円 230千円</p>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、ソーシャルディスタンスを保つため、人数制限を設け、事前申し込み制で実施する。

事業名：在宅当番医制運営事業

参事（地域医療）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策				
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般社団法人江別医師会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	団体（医師会）数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市、当別町、新篠津村の3自治体が一般社団法人江別医師会に委託する休日・夜間の救急医療体制の確保、在宅当番医の調整、住民に対する救急医療の普及啓発事業に必要な経費を4期に分けて支払う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	医師会との協議、会議開催回数	回	2	3	2	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・休日等急病医療機関（内科・小児科系）及び災害事故等救急医療機関（外科系）を確保する。
- ・在宅当番医制対象医師を確保する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	在宅当番医療機関数（内科・小児科系＋外科系医療機関数）	院	38	36	36	36
成果指標 2	在宅当番医制対象医師数	人	151	146	152	152

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費（A）		千円	4,995	4,995	5,000	5,000
正職員人件費（B）		千円	381	384	387	380
総事業費（A+B）		千円	5,376	5,379	5,387	5,380

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	江別市、当別町、新篠津村の3自治体が、休日・夜間の救急医療体制の確保、在宅当番医の調整、住民に対する救急医療の普及啓発事業について、一般社団法人江別医師会に委託し実施。	委託料 5,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：救急医療対策事業

参事（地域医療）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内民間医療機関

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内民間医療機関数	院	68	67	66	66
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

災害事故等により救急を要する傷病者及び日曜日、祝日、年末年始に発生した急病者に対する診療体制を確保するため、実施した医療機関に対し補助金を交付する。（外科系については、年4回、内科・小児科系は年1回実績に基づき交付）  
『江別市救急医療対策事業補助要綱』により補助。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	23,527	23,857	23,907	23,992
活動指標 2 診療日数	日	310	313	311	312

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民の生命と健康を保持するため、休日、夜間の患者を受け入れる災害事故等救急医療機関（外科系）及び休日等急病医療機関（内科・小児科系）を確保する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 休日、夜間の患者を受け入れる民間医療機関の数	院	36	34	36	36
成果指標 2 診療日数	日	310	313	311	312

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	23,527	23,858	23,907	23,996
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	23,908	24,242	24,294	24,376

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 災害事故等により救急を要する傷病者及び日曜日、祝日、年末年始に発生した急病者に対する診療体制を確保するため、実施した医療機関に対し、補助金を交付する。（外科系については年4回、内科・小児科系は年1回実績に基づいて交付）	医療機関への補助金 23,992千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：夜間急病センター運営経費

参事（地域医療）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

一般医療機関の診療時間外に診療が必要な救急患者に対して応急的な診療・処置を行い、症状により救急医療機関への転送を行う。  
 年中無休  
 開設時間19:00～翌朝7:00

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 開院日数	日	365	366	365	365
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

夜間の時間帯に救急患者に対する応急処置等を行い、疾病等から住民の健康を守るとともに、夜間の初期救急患者の診療体制を確保することにより市民の安心感を醸成する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 応急処置をした人数	人	5,805	5,304	1,545	5,555
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	128,746	126,771	147,873	150,148
正職員人件費 (B)	千円	41,186	41,510	41,801	41,051
総事業費 (A+B)	千円	169,932	168,281	189,674	191,199

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 一般医療機関の診療時間外に診療が必要な救急患者に対して応急的な診療・処置を行い、症状により二次救急医療機関等への転送を行うために、夜間急病センターを運営する。診療科目は内科、小児科。開設時間は年中無休で19時～翌朝7時（受付は18時30分～翌朝6時30分）	医師等への報酬 92,012千円 医薬材料費 8,000千円 医療機器保守等委託料 36,712千円 白衣・タクシー等の賃借料 7,910千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：がん検診等クーポン事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策				
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・20歳、40歳の女性市民（女性特有のがん）
- ・肝炎ウイルス検診を受けたことがない40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳の市民（肝炎ウイルス）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	20歳、40歳の女性市民の数	人	1,424	1,322	1,376	1,348
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・子宮頸がん、乳がん検診の検診初年度対象者（子宮頸がん：20歳、乳がん：40歳）に無料クーポン券を送付し、正しい健康意識の普及啓発を行うとともに、対象者の受診費用を無料化する。
- ・肝炎による健康障がい回避、症状の軽減又は進行の遅延を図るため、当該検診を受けたことがない特定年齢に該当する方に受診票等を送付し、市内医療機関等で受診する検診費用を無料化する。
- ・がんクーポン券、肝炎受診票発送とは別に、20歳から69歳のがん検診対象者に郵送によるがん検診受診勧奨を実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	がんクーポン検診受診件数（大腸がんクーポン券はH27で終了）	件	231	209	176	173
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

対象者が正しい健康意識を持つとともに検診の重要性の理解が深まり、検診を受診する市民が増えるようになる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	女性特有のがんクーポン検診平均受診率	%	16.2	15.8	12.9	12.9
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	13,904	13,616	12,533	11,758
正職員人件費 (B)	千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)	千円	16,955	16,691	15,629	14,799

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
<p>3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん、乳がん検診の検診初年度対象者（子宮頸がん：20歳、乳がん：40歳）に無料クーポン券を送付し、正しい健康意識の普及啓発を行うとともに、対象者の受診費用を無料化する。</li> <li>・肝炎ウイルス検診を過去に受けたことがない40歳から65歳の5歳刻みの対象者に対し、無料受診票を送付し、受診費用を無料化する。</li> <li>・がんクーポン券、肝炎受診票とは別に、20歳から69歳のがん検診対象者に郵送によるがん検診受診勧奨を実施する。</li> <li>・子宮頸がん自己採取HPV検査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮頸がん・乳がん検診委託料 1,166千円</li> <li>・肝炎ウイルス検診委託料 2,250千円</li> <li>・がんクーポン・肝炎受診票・個別受診勧奨文作成及び封入封緘委託料 1,389千円</li> <li>・クーポン等勧奨郵便料 2,739千円</li> <li>・自己採取HPV検査費 1,775千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：保健センター管理運営事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策				
開始年度	昭和61年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保健センター

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	箇所	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

施設管理を指定管理者に委託する。  
 江別市保健センターについて  
 所在地：江別市若草町6番地の1、供用開始：平成12年12月1日、構造：鉄筋コンクリート造3階建  
 延床面積：4,013㎡（保健センター管理部分：2,659㎡）  
 令和2年度開館日数：242日、休館日：土・日・祝日・年末年始、開館時間：8：45～17：15

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料	千円	16,296	16,828	16,933	16,927
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理が適切に行われる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	16,296	16,828	16,933	16,927
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	16,677	17,212	17,320	17,307

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 高齢者福祉施設「いきいきセンターわかかさ」と共に福祉・保健・医療の総合的サービスの提供を行うため、指定管理制度を活用し、施設の維持管理を行う。	指定管理委託料 16,927千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：健康都市推進事業

健康推進室参事（健康推進）

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進			
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

健康のための良い生活習慣の定着が進むよう、健康に関する企画・催しの実施、啓発媒体の配布などを通じ、健康意識向上のための啓発を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 啓発に要する事業経費	千円	1,999	2,647	1,000	2,028
活動指標 2 健康意識啓発の取組項目数	項目	15	16	8	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民一人ひとりの健康の保持・増進に向けた意識が高まる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 健康のために心がけていることがある市民割合	%	88.8	85.2	89	89
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,271	2,654	2,411	2,037
正職員人件費 (B)	千円	19,068	19,218	19,353	19,005
総事業費 (A+B)	千円	22,339	21,872	21,764	21,042

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・野菜摂取推進に向けた普及啓発 ・健康意識向上のための啓発イベント	・野菜摂取推進のための啓発費 1,198千円 ・健康意識向上啓発イベント開催経費 830千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：健康教育事業

保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進			
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市民	人	0	119,510	119,510	119,883
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・生活習慣病予防や健康づくりを目的とした教室や出前教育の実施
- ・小学校向けの喫煙予防教室、中学校向けの生活習慣病予防教室の実施
- ・自治会や地域の団体などを対象とした健康教育

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 健康教育事業開催回数	回	0	101	25	76
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

正しい生活習慣や食習慣、運動する意識や喫煙予防・禁煙に対する市民の意識を高める。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 健康教育事業参加者数	人	0	3,398	1,317	3,360
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	951	1,124	958
正職員人件費 (B)	千円	0	11,146	11,224	10,263
総事業費 (A+B)	千円	0	12,097	12,348	11,221

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別健康教育（自治会、団体等）</li> <li>・健康づくりサポーター講座</li> <li>・食生活改善推進員再講習</li> <li>・野菜摂取推進にかかる普及啓発</li> <li>・喫煙予防教室（小学校）、生活習慣病予防教室（中学校）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座等講師謝礼 71千円</li> <li>テキスト等需用費 335千円</li> <li>ポスター等印刷費 53千円</li> <li>非常勤職員報酬 489千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、 ・ソーシャルディスタンスを保つため、会場・参加人数の見直しを行う。 ・不特定多数を対象とする啓発事業については、オンラインでの開催を検討し、安心して参加できる環境を整える。

事業名： 高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業 保健センター 管理係

政策	03 福祉・保健・医療	戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり					
取組の基本方針	02 健康づくりの推進と地域医療の安定	具体的施策						
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民		0	0	0	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・医療・介護・健診結果等のデータ分析による健康課題の把握
- ・通いの場や高齢者クラブ等への専門職派遣による健康教育・健康相談
- ・後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック
- ・後期高齢者への生活習慣病重症化および低栄養予防のための個別支援

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	専門職派遣による健康教育回数	回	0	0	0	50
活動指標 2	フレイルチェック実施人数	人	0	0	0	2,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、健康寿命の延伸を図る

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	人	0	0	0	800
成果指標 2	重症化予防等の個別支援実施人数	人	0	0	0	100

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	5,247
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	12,849

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）				
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・介護・健診結果等のデータ分析による健康課題の把握</li> <li>・通いの場や高齢者クラブ等への専門職派遣による健康教育・健康相談</li> <li>・後期高齢者質問票を用いたフレイルチェック</li> <li>・後期高齢者への生活習慣病重症化および低栄養予防のための個別支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ分析・企画調整等にかかる経費</li> <li>・通いの場等への健康教育・健康相談経費</li> <li>・後期高齢者質問票によるフレイルチェック</li> <li>・重症化予防等の個別支援にかかる経費</li> </ul>	2,420千円	564千円	1,249千円	1,014千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

新規	医療保険制度により74歳以前と75歳以降の保健事業が適切に継続されにくいこと、保健事業は後期高齢者医療広域連合介護予防は市町村と実施主体が異なるため、健康状態や生活機能の課題に一体的に対応できていないことなどの課題があった。こうした状況をふまえ、国で検討がなされ、市町村が中心となり推進するための体制整備について法改正等が行われた。その中で後期高齢者医療広域連合と市町村が連携のもと実施することや、市町村の役割も規定されたことから、市として、健康課題の分析・共有を行い、切れ目のない保健事業の提供及び介護予防との一体的な対応が図られるよう取り組む。
----	--

事業名： 身体障害者訪問入浴サービス事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

重度の肢体不自由障がい者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	重度の肢体不自由障がい者数（4月1日）	人	1,058	1,086	1,058	1,086
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

障がい等により自宅等での入浴が困難な場合、申請に基づく利用決定を受けた方に対し、移動入浴車が自宅を訪問し、入浴サービスを提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託事業者数	ヶ所	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

身体の清潔や、心身機能が維持されることで快適な日常生活を送る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	訪問入浴サービス利用者数	人	2	4	4	4
成果指標 2	訪問入浴サービス延べ利用回数	回	104	117	215	219

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,340	1,508	1,550	2,827
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	1,721	1,892	1,937	3,207

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	自宅等での入浴が困難な場合、利用決定した方に対して、移動入浴車が自宅を訪問し入浴サービスを提供する。	訪問入浴サービス事業者への委託料 2,827千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：身体障害者生活訓練事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

視覚障がい者（18歳以上）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 視覚障がい者数（4月1日）	人	403	413	403	413
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

視覚障がい者を対象に、点字、機織り、歩行訓練などの講習会を実施し、日常生活に必要な訓練を行う。4月から12月までの間で年16回開催（通常メニュー）。また、視覚障がい者のニーズに応じて年1回程度、訓練・講習会を実施する（特別メニュー）。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 講習会開催回数	回	17	17	17	17
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

日常生活のための様々な技術を身につけ、社会参加や自立が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 講習会受講者数	人	14	14	10	10
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	495	495	448	448
正職員人件費 (B)	千円	763	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	1,258	879	835	828

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	点字、機織り、歩行訓練等、視覚障がい者に対して日常的に必要な訓練・指導を行う。	生活訓練委託料	432千円
		生活訓練報償費	15千円
		生活訓練印刷製本費	1千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：人工透析患者通院費助成事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

腎臓機能障がい者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 腎臓機能障がい者数（4月1日）	人	410	420	410	415
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

人工透析の回数が週3回未満の場合は最大60回分、週3回以上の場合は最大90回分のタクシー基本料金相当額のタクシーチケットを支給する。  
タクシーチケットの支給には申請が必要で、在宅の市内居住者に限る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 タクシーチケット交付延枚数	枚	20,674	19,585	18,499	15,570
活動指標 2 タクシーチケット受給者数	人	235	223	213	173

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

交通費を助成することで通院に係る経済的負担が軽減される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 タクシーチケットの使用枚数	枚	14,180	13,319	13,134	11,055
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	9,563	8,882	8,323	7,549
正職員人件費 (B)	千円	763	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)	千円	10,326	10,419	9,871	9,069

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 人工透析患者に対するタクシーチケットの交付	タクシーチケットの印刷代 80千円 タクシーチケットの申請・交付に係る郵送料 62千円 タクシーチケットの利用料 7,407千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：心身障害者自立促進交通費助成事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	338	361	338	361
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自立促進を目的として訓練などを行っている施設に公共交通機関を利用して通所した際の交通費について、その1/2を助成する。申請が必要で、障がい者支援施設等から通所の月別日数証明書を受け、申請する。年に2回支給。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	支給総額	千円	6,433	6,801	6,795	7,219
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

通所交通費の助成により、障がい者の訓練等を促すことで、社会参加・自立が促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	実支給者数	人	178	181	195	192
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,433	6,801	7,344	7,219
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)		千円	8,721	9,107	9,666	9,500

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	公共交通期間を利用して障がい者支援施設等に通所する場合に、その交通費の1/2を助成し、心身障がい者の経済的負担の軽減と自立の促進を図る。	交通費助成 7,219千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：精神障害者ボランティア団体活動支援事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	昭和50年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

精神障がい回復者団体

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 精神障がい回復者団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

精神障がい回復者の社会復帰（参加）に向けた情報の提供、ボランティア活動への参加等を促進することを目的として活動する精神障がい回復者の団体に、研修会やボランティア活動等の実施を委託する。  
（委託先：精神障害者の会江別空色クラブ）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 活動日数	日	11	11	11	11
活動指標 2 開催事業数	回	11	11	11	11

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

団体が安定して運営されることで、精神障がい回復者の親睦、連携の場が確保され、社会参加が促進される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 事業参加者数	人	123	116	120	120
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	314	314	288	288
正職員人件費 (B)	千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)	千円	695	698	675	668

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 精神障がい回復者の社会復帰に向けた情報提供、ボランティア活動のため、活動団体に対して事業委託を行う。（講習会、研修会、ボランティア活動を企画実施）	委託料 288千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：精神障害者相談員設置事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

精神障がい者及びその家族

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	精神障がい者数（4月1日）（自立支援（精神通院）支給認定者数）	人	2,278	2,439	2,278	2,439
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

専任相談員による相談を行い、精神障がい者の社会的自立と家族の支援を行う。委託により実施。相談は平日の日中で予約は不要。  
（委託先：NPO法人江別あすか福祉会）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談開設日数	日	237	240	240	240
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

精神障がい者及び家族が日常生活を営む上での悩みを相談することで、不安を解消し、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	402	373	388	388
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,881	1,898	1,916	1,916
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	3,406	3,435	3,464	3,436

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	相談業務を委託により実施	相談委託料	1,916千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：自動車運転免許取得費・改造費助成事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

18歳以上の肢体不自由者（身障手帳1、2級）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標1	18歳以上の肢体不自由者数（身障手帳1、2級）（4月1日）	人	1,027	1,060	1,027	1,060
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自動車運転免許の取得及び自動車の改造に直接要した費用を10万円を限度に助成する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標1	申請審査件数	件	2	2	4	2
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

身体障がい者の移動手段が確保されることで、社会参加・自立促進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標1	制度を利用して免許を取得した人数	人	1	1	1	1
成果指標2	制度を利用して自動車を改造した人数	人	1	1	3	1

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費(A)		千円	200	200	200	200
正職員人件費(B)		千円	763	384	387	380
総事業費(A+B)		千円	963	584	587	580

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	自動車運転免許取得費・自動車改造費の助成	費用の一部助成 200千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：身体障害者スポーツ教室・大会開催事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

身体障がい者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	身体障がい者数（4月1日）	人	5,558	5,671	5,558	5,671
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

サウンドテーブルテニス（卓球）や社交ダンス及びボウリングなどのスポーツ教室や大会などを障がい者関連団体に委託して実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開催回数	回	70	70	19	70
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

スポーツを通じて、身体障がい者の体力増強や社会参加、交流が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加者数	人	654	750	122	750
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	250	250	225	225
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	631	634	612	605

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	スポーツ教室・大会の実施を障がい者関連団体への委託により実施	委託料	225千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 重度心身障がい者等交通費助成事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	昭和60年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ 1、2級の身体障害者手帳所持者
- ・ A判定の療育手帳所持者
- ・ 1級の精神障害者保健福祉手帳所持者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	1、2級の身体障害者手帳所持者・A判定の療育手帳所持者・1級の精神障害者保健福祉手帳所持者	人	3,187	3,272	3,187	3,200
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

年間最大24回分のタクシーチケット（タクシー基本料金相当額）又は年間最大12回分のガソリンチケット（1枚当たり500円）のいずれかを、対象者の選択により支給。  
 チケットの支給には申請が必要で、在宅の市内居住者に限る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	タクシーチケット交付延枚数	枚	36,612	36,960	36,495	27,792
活動指標 2	ガソリンチケット交付延枚数	枚	0	0	0	18,600

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

タクシー料金又はガソリン料金の一部を助成することにより、その生活圏の拡大と社会参加の促進が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	タクシーチケット使用枚数	枚	22,876	21,271	21,897	12,228
成果指標 2	ガソリンチケット使用枚数	枚	0	0	0	16,926

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	15,862	14,889	15,998	18,091
正職員人件費 (B)	千円	1,525	1,537	1,548	3,041
総事業費 (A+B)	千円	17,387	16,426	17,546	21,132

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 重度心身障がい者（児）に対するタクシーチケット・ガソリンチケットの支給	タクシーチケット・ガソリンチケットの印刷代 376千円 タクシーチケット・ガソリンチケットの申請・交付に係る郵送料 1,059千円 タクシーチケット・ガソリンチケットの利用料 16,656千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	これまでのタクシーチケットの支給に加え、ガソリンチケットを追加し、対象者による選択制を導入。

事業名：江別市自立支援協議会運営事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障がいを持つ市民（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	障がいを持つ市民（身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者）	人	9,076	9,389	9,076	9,389
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ①自立支援協議会定例会、全体会の開催
- ②自立支援協議会専門部会の開催（相談支援部会、就労支援部会、広報部会、子ども部会）

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	自立支援協議会定例会、全体会の回数	回	11	11	0	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自立支援協議会の運営により、障がいを持つ市民のための支援体制を充実させることで地域で安心して暮らせるようになる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	自立支援協議会（定例会、全体会）参加者数	人	1,007	597	0	802
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	681	343	366	364
正職員人件費 (B)	千円	3,814	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)	千円	4,495	2,649	2,688	2,645

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・定例会、全体会、専門部会（相談支援、就労支援、広報、子ども）の開催 ・事業所ガイドブック「えべっつなび」の発行	・勉強会講師報償費 30千円 ・勉強会資料費用 11千円 ・事業所ガイドブック「えべっつなび」発行費用 32千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：地域活動支援センター事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

地域活動支援センター

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 地域活動支援センター数	施設	1	1	1	1
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

障がい者に対し、創作的活動や生産活動の機会の提供、社会生活の適応性を高める事業など、創意工夫により柔軟に事業を実施する地域活動支援センターに対し、地域活動支援センター実施要綱に基づく補助を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域活動支援センターの運営を安定化することで、障がい者の生産活動の機会の提供や地域生活の支援、地域活動の促進が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 実利用者数（年）	人	6	8	7	8
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	6,000	6,000	6,000	6,000
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	6,763	6,769	6,774	6,760

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	地域活動支援センターに対し、地域活動支援事業実施要綱に基づく補助を行う。	補助金 6,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者日中一時支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者（18歳以上）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者（18歳以上）（4月1日）	人	8,616	8,938	8,616	8,938
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

日中において介護するものがないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい者等（18歳以上）に活動の場を提供し、見守り、社会適応訓練等の支援を行う。  
利用者は事前に支給決定を受け、市に登録された事業所に申込み、サービスを利用する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業所数	個所	38	40	41	41
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者等（18歳以上）の日中活動の場が確保されることで、家族の就労支援や一時的な休息が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	実利用者数（年）	人	66	70	55	56
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	9,540	13,413	17,115	17,524
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	10,684	14,950	18,663	19,044

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	障がい者等（18歳以上）に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等の支援を行う。	利用料に対する助成費用 17,524千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者移動支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

下肢又は体幹機能障がい者（1，2級）、知的障がい者、精神障がい者（18歳以上）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	下肢又は体幹機能障がい者（1，2級）、知的障がい者、精神障がい者数（4月1日）	人	3,677	3,887	3,677	3,887
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

屋外での移動に困難がある障がい者（18歳以上）に対し、ホームヘルパーの派遣などにより、外出の際の支援を行う。利用者は事前に支給決定を受け、市に登録された事業者に申込み、サービスを利用する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業所数	個所	79	79	81	81
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域での自立生活及び社会参加が促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	延べサービス利用時間（年）	時間	11,870	14,545	12,568	13,699
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	29,228	38,227	37,000	34,000
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	30,753	39,764	38,548	35,520

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	屋内での移動が困難な障がい者（18歳以上）に対して、外出のための支援を行うことで、地域での自立生活及び社会参加を促す。	利用料に対する助成費用 34,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者相談支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障がい者（身体・知的・精神・難病）及びその家族

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	障がい者数（4月1日）	人	9,076	9,389	9,076	9,389
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

専任相談員による相談を行い、障がい者（身体・知的・精神・難病）の社会的自立と家族の支援を行う。委託により実施。相談は平日の日中で、予約は不要。  
（委託先：（一財）江別市在宅福祉サービス公社）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談開設日数	日	244	239	242	241
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者とその家族の不安を解消し、自立した日常生活や社会生活を営むことができるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	575	823	1,412	937
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,590	6,590	6,590	7,264
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	8,115	8,127	8,138	8,784

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	相談業務を委託により実施	相談委託料 7,264千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：重症心身障害者（児）医療的ケア事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

在宅の重症心身障がい者（児）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内の在宅の重症心身障がい者（児）	人	14	14	14	15
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

対象者が日中活動の場に行く際に必要な痰吸引や経管栄養等、医療的ケアを行う看護師等の派遣にかかる費用の助成を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談件数	件	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

対象者の社会参加の機会を増やす。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	給付決定件数	件	1	1	1	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	240	310	542	1
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,003	1,079	1,316	761

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	医療的ケアを必要とする重症心身障がい者（児）に、家庭以外の日中活動の場へ看護師等を派遣する費用について助成する。	利用料に対する助成費用 1千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：身体障害者・知的障害者相談員設置事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障がい者（身体・知的）及びその家族

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	身体障害者数	人	5,558	5,671	5,558	5,671
対象指標 2	知的障害者数	人	1,240	1,279	1,240	1,279

手段（事務事業の内容、やり方）

専任相談員による相談を行い、障がい者（身体・知的）の社会的自立と家族の支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	身体障害者相談員数	人	4	4	4	4
活動指標 2	知的障害者相談員数	人	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者（身体・知的）が日常生活を営む上での悩みを相談することで不安を解消し、自立した日常生活及び社会生活を営むことができるようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	相談件数	件	28	21	28	21
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	128	125	5	5
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	891	894	779	765

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	相談員委嘱（身体障がい者当事者、知的障がい者の家族）	費用弁償（相談員研修参加旅費）	5千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者成年後見制度利用支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

知的障がい者または精神障がい者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	市内の知的障がい者及び精神障がい者	人	3,518	3,718	3,518	3,718
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市成年後見支援センターや相談支援事業所等からの連絡や窓口での相談に基づき、法定後見制度を必要とする身寄りも資力もない障がい者に対し、裁判所への成年後見の申し立てに必要な費用の助成等を行う。また、成年後見等が決定した場合は成年後見人等報酬に要する費用の助成を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	相談件数	件	4	7	6	9
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

判断能力が不十分のために、財産侵害を受けたり、人間としての尊厳が失われたりする事態を防止するため、本人の代わりに法律行為等を行う後見人等を選任し、障がい者が安心して生活できるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	支援決定件数	件	3	7	6	9
成果指標 2						

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	298	747	1,169	1,189
正職員人件費 (B)	千円	1,907	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	2,205	1,516	1,943	1,949

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ①後見開始の審判申立費用の助成 ②成年後見人等報酬に要する費用の助成	①後見開始の審判申立費用の助成 89千円 ②成年後見人等報酬に要する費用の助成 1,100千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者社会参加支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

視覚障がい者  
聴覚障がい者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 聴覚障がい者数（重度）（4月1日）	人	98	102	98	102
対象指標 2 視覚障がい者数（重度）（4月1日）	人	279	292	279	292

手段（事務事業の内容、やり方）

聴覚障がい者からの要請に基づき、手話通訳登録者または要約筆記登録者を派遣する。また、障がい福祉担当部署に専任手話通訳者を配置し、庁内業務等に対応する。  
視覚障がい者のうち、希望者へ「点字広報」及び「声の広報」を発行する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 通訳派遣件数	件	515	467	496	496
活動指標 2 点字広報、声の広報の発行数	部	60	60	60	60

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

聴覚障がい者及び視覚障がい者の社会参加が促進される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 聴覚障がい者（重度）のうち手話や要約筆記の派遣割合	%	47	47	32	32
成果指標 2 点字広報、声の広報発行割合	%	22	21	22	21

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	5,426	5,412	5,607	5,501
正職員人件費 (B)	千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)	千円	6,189	6,181	6,381	6,261

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 聴覚障がい者のための専任手話通訳者の配置及び手話通訳者等の派遣・タブレットによる「遠隔手話サービス」の提供 視覚障がい者のための点字広報・声の広報の発行	聴覚障がい者のための社会参加支援費用 4,699千円 視覚障がい者のための点字広報・声の広報発行費用 802千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 重度心身障害者医療費助成事業

医療助成課 医療助成係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内に居住し、次のいずれかに該当する重度心身障がい者  
 ・身体障害者手帳1級、2級又は3級内部疾患の交付を受けている方  
 ・療育手帳「A」判定の交付を受けている方、又は医師に重度の知的障害と判定（診断）された方  
 ・精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 重度心身障がい者受給者数	人	2,592	2,635	2,607	2,644
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

（助成範囲）  
 ①身体障がい者・知的障がい者：入院・通院・指定訪問看護  
 ②精神障がい者：通院・指定訪問看護  
 （助成内容）保険適用医療費の自己負担分を一部助成。  
 ①未就学児・住民税非課税世帯の入院医療費、小学生の課税世帯の入院医療費：初診時一部負担金を控除した額  
 ②上記以外の者：自己負担分から1割を控除した額（月額上限額 入院57,600円《多数回44,400円》 通院18,000円《年間上限額144,000円》）  
 （やり方）本人の申請に基づき資格審査をし、受給者証を交付。医療機関に受給者証を提示することにより助成。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 重度心身障がい者医療費給付額	千円	212,777	202,801	198,759	206,600
活動指標 2 重度心身障がい者医療費受診件数	件	61,329	65,118	62,152	64,801

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

重度心身障がい者の医療費の負担軽減を図り、健康を保持し、安心して暮らすことができるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 重度心身障がい者医療費1人あたり年間平均受診件数	件	23.7	24.7	23.9	24.5
成果指標 2 重度心身障がい者医療費年間1人あたりの医療費	円	82,090	76,964	76,446	78,139

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費(A)	千円	212,777	202,801	211,217	206,600
正職員人件費(B)	千円	8,390	8,840	8,515	8,742
総事業費(A+B)	千円	221,167	211,641	219,732	215,342

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 重度心身障がい者の医療費自己負担分一部助成	医療費 206,600千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：在宅給食サービス事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

65歳未満の障がい者のうち、心身の障がい、疾病等のため食事調理が困難な者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳未満の障がい者	人	3,433	3,247	3,209	3,247
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

毎夕食の調理、配達を業者に委託する

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託金額	千円	761	837	858	797
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・栄養バランスの取れた食事を摂ることができ、健康保持につながる。
- ・安否の確認ができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	17	15	14	14
成果指標 2	年間配達食数	食	4,440	4,858	4,334	4,380

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	761	837	917	797
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	990	1,068	1,149	1,025

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請受付等、事務手続を社会福祉協議会に委託</li> <li>・調理、配達、安否確認は配食業者に再委託</li> </ul>	委託経費 797千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者移動支援事業（児童）

子育て支援課 子ども家庭係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

下肢又は体幹機能障がい児（1、2級）、知的障がい児、精神障がい児（18歳未満）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	下肢又は体幹機能障がい児（1、2級）、知的障がい児、精神障がい児数（4月1日）	人	303	317	312	308
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

屋外での移動に困難がある障がい児（18歳未満）に対し、ホームヘルパーの派遣などにより、外出の際の支援を行う。利用者は事前に受給決定を受け、市に登録された事業所に申込みサービスを利用する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業所数	か所	68	71	72	72
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域での自立生活及び社会参加が促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	延べサービス利用時間（年）	時間	2,480	1,627	803	803
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費（A）		千円	5,868	3,342	3,931	2,049
正職員人件費（B）		千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費（A+B）		千円	8,919	6,417	7,027	5,090

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	屋外での移動が困難な障がい児（18歳未満）に対して、外出のための支援を行うことで、地域での自立生活及び社会参加を促す。	利用料の一部負担 2,049千円

3年度への改善方向性（2月時点）	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者日中一時支援事業（児童）

子育て支援課 子ども家庭係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

短期入所の支給決定を受けている障がい児（18歳未満）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	短期入所の支給決定を受けている障がい児（18歳未満）	人	156	179	179	183
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

日中において介護する者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい児等（18歳未満）に活動の場を提供し、見守り、社会適応訓練等の支援を行う。  
利用者は事前に支給決定を受け、市に登録された事業所に申込み、サービスを利用する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業所数	か所	33	34	37	37
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児等（18歳未満）の日中活動の場が確保されることで、家族の就労支援や一時的な休息が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	実利用者数（年）	人	86	97	91	80
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費（A）		千円	28,184	27,872	27,255	30,700
正職員人件費（B）		千円	3,814	3,844	3,871	3,801
総事業費（A+B）		千円	31,998	31,716	31,126	34,501

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	障がい児等（18歳未満）に活動の場を提供し、見守り、社会に適応するための日常的な訓練等支援を行う。	利用料の一部負担	30,700千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者就労相談支援事業

障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障がい者及びその家族並びに企業

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	障がい者数	人	9,076	9,389	9,076	9,389
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

就労や障害福祉サービスの利用等を含む就労全般に係る相談を受ける相談支援員を配置し、また、相談者・家族・事業者等への就労継続のアドバイスや職場巡回を行う定着支援員を配置することで相談支援体制を確保する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談開設日数	日	244	239	243	242
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい者及び家族が就労に関する悩みを相談し、支援を受けることで、就労が可能となり自立した社会生活を営むことができるようになる。  
また、障がい者雇用を希望したり、現に雇用している企業の相談など支援を行うことで、障がい者の就労の場を確保し、継続した就労を可能にする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	年間延べ相談件数	件	927	1,092	1,048	1,022
成果指標 2	一般就労件数	件	7	13	7	7

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	9,159	9,244	9,719	9,970
正職員人件費 (B)		千円	4,576	2,306	2,322	2,281
総事業費 (A+B)		千円	13,735	11,550	12,041	12,251

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	就労相談支援及び定着支援を委託により実施	委託料	9,970千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害者自助具給付費（児童）

子育て支援課 子ども家庭係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

在宅で生活している重度身体障がい児（身体障害者手帳1級または2級）、両耳の聴力レベルが30db以上で、身体障害者手帳の交付対象外の児童。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	軽度・中等度難聴児（予算要求人数）	人	3	3	3	3
対象指標 2	重度身体障がい児	人	50	44	44	38

手段（事務事業の内容、やり方）

重度身体障がい児（所得税非課税世帯）に対し、日常生活動作を補う自助具を給付する。また、軽度及び中等度難聴児の補聴器の購入費及び修理費の一部を助成する（道、市町村が購入基準額のそれぞれ3分の1を助成する）。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	申請件数	件	2	4	5	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

重度身体障がい児の日常生活動作を容易にし、また、軽度・中等度難聴児の言語習得及び生活適応を促すことで、対象者の自立した生活への寄与及び心身の発達を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	給付件数	件	2	4	5	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	63	232	225	225
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	444	616	612	605

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	軽度・中等度難聴児の補聴器購入費及び修理費等の一部助成	補聴器購入費及び修理費等 225千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：小児慢性特定疾病児日常生活用具給付事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有する小児慢性特定疾病児

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小児慢性特定疾病児数	人	85	85	85	85
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

小児慢性特定疾病児に対し、日常生活用具の購入に要する費用を助成する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	申請件数	件	0	0	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

小児慢性特定疾病児の日常生活動作を容易にし、生活の利便性が向上し、自立した生活が可能となる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	給付件数	件	0	0	1	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1	1
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	388	381

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	日常生活用具購入に要する費用の助成	助成に要する費用 1千円（頭出し）

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：医療的ケア児（者）受入促進事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

在宅で生活する医療的ケアが必要な障がい児及び障がい者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	在宅で生活する医療的ケアが必要な障がい児及び障がい者	人	12	16	16	16
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

医療的ケアが必要な障がい児及び障がい者を受入れする障害児通所支援事業所等に対し、受入日数等に応じ運営費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	医療的ケア児（者）を受入れする事業所数	か所	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアが必要な障がい児及び障がい者が、安心して過ごせる環境づくりを支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	医療的ケア児（者）受入延べ日数	日	272	306	300	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	5,100	5,100	5,100	14,800
正職員人件費 (B)		千円	1,144	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	6,244	5,869	5,874	15,560

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	医療的ケアが必要な障がい児（者）を受け入れる障害児通所支援事業所及び障害福祉サービス事業所への運営費補助金	補助金	14,800千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

見直し	重症心身障害児（者）や医療的ケア児（者）は、食事や排せつ等において1対1の介助や、ミキサー食等のきめ細やかな対応に手厚い職員配置が必要であること、心身の状態が不安定なためキャンセルが多く、事業所の経営が安定しない大きな要因であることから、重度障がい児（者）や保護者が安心して過ごすことができる環境を整備するため、看護職員1名見合い分の補助に加え、食事介助等に係る人件費の一部及び障がい児のキャンセルに伴う運営費の一部を補助する。
-----	--

事業名： 重度訪問介護利用者大学修学支援事業 障がい福祉課 障がい福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	03 障がい者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に居住する重度訪問介護利用者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内に居住する障がい者で重度訪問介護を支給決定を受けている者	人	0	0	9	9
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

修学するために必要な支援体制を大学が構築できる間において、重度訪問介護利用者に対し大学内にて修学に必要な身体介護（食事介護及びトイレ介助等）を提供する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	利用者数	人	0	0	1	1
活動指標 2	支援時間数	時間	0	0	33	233

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

重度訪問介護利用者が、大学内にて修学に必要な身体介護の提供を受けることにより、進級又は卒業できることを目的とする（社会参加の促進）。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	進級又は卒業した利用者数	人	0	0	1	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	457	457
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,520
総事業費 (A+B)		千円	0	0	457	1,977

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	大学に通学する重度訪問介護利用者に対し、身体介護（食事介助及びトイレ介助等）を提供する。	身体介護に係る費用 457千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：深夜等訪問介護利用者負担額助成事業 介護保険課 介護給付係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実		具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

深夜等（夜間・深夜・早朝）に訪問介護を利用する介護保険被保険者。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	助成対象者	人	20	23	18	42
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

深夜等に訪問介護を利用した場合、加算分を助成する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	助成金支給者数	人	8	7	34	42
活動指標 2	利用者負担軽減額	千円	129	132	290	309

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

深夜等でも日中と同じ自己負担で訪問介護を利用できるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者負担額軽減利用延べ件数	件	70	70	181	193
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	129	131	148	309
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	358	362	380	537

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	深夜等に訪問介護を利用した場合の加算分を助成 助成対象者：生活保護受給者を除く ・第1号被保険者（65歳以上）のうち、市民税非課税世帯に属している者 ・第2号被保険者（40～64歳）のうち、境界層該当者（利用者負担の軽減を受ける事により生活保護を必要としない状態になる者）	深夜等訪問介護利用者への助成 309千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 高齢者・身体障害者除排雪サービス経費 介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	昭和61年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（低層）に入居する市・道民税非課税の世帯又は生活保護を受給している世帯であって、70歳以上の高齢者又は障がい者等の自力で除雪が困難な世帯

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	70歳以上のみで構成される市営住宅（低層）居住世帯数	世帯	146	150	150	130
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

避難路を確保するため玄関から一番近い公道までの通路を除雪する作業を除雪業者に委託する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託金額	千円	2,080	767	2,132	2,220
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間においても避難路が確保され、安心な暮らしができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用世帯数	世帯	25	24	32	32
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,080	767	2,132	2,220
正職員人件費 (B)		千円	381	384	310	304
総事業費 (A+B)		千円	2,461	1,151	2,442	2,524

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難路を確保するため玄関から一番近い公道まで約80cm幅で通路を除雪する。</li> <li>除雪業者に上記を委託する。</li> </ul>	除雪業者への委託料 2,220千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：高齡者クラブ生きがい支援推進事業 介護保険課 高齡福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略			
取組の基本方針	04 高齡者福祉の充実			具体的施策			
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市高齡者クラブ連合会、高齡者クラブ

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	構成団体数	団体	67	65	63	64
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

老人クラブ運営費補助要綱に基づき高齡者クラブ団体に対し、補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	6,773	6,579	6,422	6,517
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齡者クラブの活動が安定して行われることで、生きがいや社会参加の機会を持つ高齡者を増やす。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	高齡者クラブ会員数	人	3,703	3,528	3,392	3,422
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,773	6,579	6,644	6,517
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	7,002	6,810	6,876	6,745

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の補助基準に基づき、交付金を交付する。</li> <li>会員数 交付金</li> <li>50人以下 61,800円</li> <li>51～100人 72,600円</li> <li>101～150人 83,400円</li> <li>151人以上 94,200円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齡者クラブ補助金 6,517千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：ふれあい入浴デー事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の65歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の公衆浴場に委託し、無料で入浴できる日を設定する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託金額	千円	1,821	1,723	1,541	1,620
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域とのふれあいの場や外出機会を創出することで、閉じこもり防止や心身の健康保持を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	3,839	3,460	3,277	3,525
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,827	1,727	1,782	1,620
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	2,056	1,958	2,014	1,848

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の市民とその介添者に対し、毎月第4月曜日に公衆浴場を無料開放する。</li> <li>・上記を市内の公衆浴場に委託する。（市内4浴場）</li> </ul>	公衆浴場への委託料 1,620千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：シルバーウィーク開催経費

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の60歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	60歳以上の市民	人	44,267	44,866	44,866	45,523
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

老人週間に合わせ、各種催しを実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施事業数	事業	2	2	1	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各事業に参加することにより、社会参加や生きがいがづくりが促進される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	896	872	46	1,100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	503	689	779	852
正職員人件費 (B)		千円	610	538	464	456
総事業費 (A+B)		千円	1,113	1,227	1,243	1,308

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーウィーク開会式</li> <li>・長寿祝品贈呈</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会式開催経費 263千円</li> <li>・長寿祝品品代等 589千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：老人憩の家管理運営事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

老人憩の家  
60歳以上の市民

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 施設数	施設	4	4	4	4
対象指標 2 60歳以上の市民	人	44,267	44,866	44,866	45,523

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。
- ・必要に応じ施設・設備の改修・更新を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 指定管理料及び施設維持経費	千円	13,737	14,177	17,604	14,510
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備の維持管理・運営が適切に行われることで、高齢者が施設を快適に利用できるようになる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 延べ利用者数	人	23,922	20,736	11,144	14,400
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	13,737	14,177	18,463	14,510
正職員人件費 (B)	千円	229	231	464	228
総事業費 (A+B)	千円	13,966	14,408	18,927	14,738

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・指定管理者へ管理代行させる ・施設関連設備補修等	・指定管理料 14,239千円 ・施設維持経費 271千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： デイサービスセンターあかしや管理運営事業 介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

デイサービスセンターあかしや  
65歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。
- ・必要に応じ施設・設備の改修・更新を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	8,805	9,107	9,055	9,077
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備の維持管理・運営が適切に行われることで、高齢者の生活機能の向上のための身体機能訓練等から機能の維持向上が図られ、健康や生きがいがいづくりに寄与する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	4,609	4,679	4,599	4,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	8,805	9,107	9,055	9,077
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	9,034	9,338	9,287	9,305

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料	9,077千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いきいきセンターわかくさ管理運営事業 介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

いきいきセンターわかくさ  
65歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。  
必要に応じ施設・設備の改修・更新を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	23,808	24,716	24,156	22,464
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備の維持管理・運営が適切に行われることで、高齢者の生活機能の向上のための身体機能訓練等から機能の維持向上が図られ、健康や生きがいがづくりに寄与する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数	人	8,943	7,963	7,820	8,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	23,808	26,310	25,202	22,587
正職員人件費 (B)		千円	229	462	433	304
総事業費 (A+B)		千円	24,037	26,772	25,635	22,891

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者へ管理代行させる</li> <li>施設関連設備補修等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理料 22,464千円</li> <li>施設維持経費 123千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：福祉除雪サービス事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一戸建て住宅に入居する市・道民税又は所得税が非課税の世帯であって、70歳以上の高齢者又は障がい者等の自力で除雪が困難な市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	70歳以上の市民	人	25,334	26,419	26,419	27,510
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

公道除雪後に対象者宅の間口に残された置き雪の除雪を除雪業者に委託する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託金額	千円	16,518	18,373	21,856	22,533
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の除雪手段が確保されることで、安心な暮らしが確保される。  
除雪に困難をきたす方の負担が軽減する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	福祉除雪利用世帯数	世帯	739	808	844	870
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	16,517	18,407	21,737	22,533
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	17,280	19,176	22,511	23,293

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>申請受付等、事務手続きを社会福祉協議会に委託</li> <li>住宅間口の除雪作業は、除雪業者に再委託</li> </ul>	委託経費 22,533千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：いきいきセンターさわまち管理運営事業 介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

いきいきセンターさわまち  
65歳以上の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。
- ・必要に応じ施設・設備の改修・更新を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	65,375	65,562	67,155	69,268
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備の維持管理・運営が適切に行われることで、高齢者の生活機能の向上のための身体機能訓練等から機能の維持向上が図られ、健康や生きがいがいづくりに寄与する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数（一般＋デイサービス）	人	19,116	19,138	10,848	12,718
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	68,771	67,290	69,268	71,943
正職員人件費 (B)		千円	839	538	650	760
総事業費 (A+B)		千円	69,610	67,828	69,918	72,703

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者へ管理代行させる</li> <li>・施設関連設備補修等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料 69,268千円</li> <li>・施設維持経費 2,675千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 高齢者・身障者世帯緊急通報システム設置費 介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ひとり暮らしで身体病弱な高齢者又は重度身体障がい者等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

緊急時の迅速かつ適切な救助体制を支援するために、利用者宅に消防署、相談センターへの通報装置を設置する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	新規設置数	台	99	94	105	105
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

緊急時・災害時に迅速な対応ができるようになり、在宅で安心して生活できるようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	現設置数	台	629	627	658	673
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	4,868	6,366	6,772	6,936
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	5,631	7,135	7,546	7,696

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急通報装置の設置</li> <li>緊急通報装置の保守、移設、取外し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託経費 5,545千円</li> <li>備品購入費 1,239千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：介護サービス提供基盤等整備事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

認知症高齢者グループホームや看護小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型デイサービスセンター等の地域密着型サービス事業所を開設する事業者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	補助金申請事業者件数	件	0	3	4	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市介護サービス提供基盤等整備事業補助金交付要綱に基づき、施設整備費及び施設開設準備経費等を定額補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	0	71,395	2,211	38,634
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域密着型介護サービス事業者が開設する事業所の基盤が整備されることにより、介護サービスを必要とする高齢者に対して、適切なサービスの提供が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	地域密着型サービスの提供基盤が整備された事業所件数	件	0	2	3	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	71,395	79,785	38,634
正職員人件費 (B)		千円	0	0	232	304
総事業費 (A+B)		千円	0	71,395	80,017	38,938

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	介護保険事業計画に基づき、看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備する事業者へ施設整備及び開設準備経費を補助する。	施設整備補助	33,600千円 施設開設準備経費補助 5,034千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：高齡者等社会参加促進バス助成事業 管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略					
取組の基本方針	04 高齡者福祉の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・高齡者団体  
・障がい者団体  
・福祉関係団体等

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 助成対象団体数	団体	162	162	162	169
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市内の高齡者及び福祉関係団体等が借り上げるバス費用の一部を助成する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 バス助成利用団体数（年間）	団体	47	46	10	53
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高齡者や障がい者等の生きがいつくり、社会参加等を目的とした事業などで、市内の福祉関係団体等が借り上げるバス費用の一部を助成することにより、いきいきと活動的に暮らす高齡者の増加と障がい者福祉の充実を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 バス助成延べ日数（年間）	日	78	76	18	87
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	2,824	2,769	3,412	3,149
正職員人件費 (B)	千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)	千円	4,349	4,306	4,960	4,669

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 利用可能団体が行うバス事業の貸切バス借上料の一部を（一日40,000円上限を年4日まで）助成する。	助成金 3,149千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活支援短期宿泊事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

原則65歳以上の日常生活に支障のある高齢者及びその家族

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

不測の事態等において65歳以上の高齢者を一時的に養護する必要がある場合に備え、養護老人ホームに短期宿泊を委託する。  
対象者を短期入所させることで、日常生活に対する指導、支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託料	千円	20	51	36	40
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

短期宿泊の場を確保することで、対象高齢者の不測の事態等において、必要な期間の養護を受けられ、さらに家族の介護の負担が軽減される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用日数	日	5	13	9	10
成果指標 2	不測の事態に受け入れることができる施設	施設	1	1	1	1

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	20	51	36	40
正職員人件費 (B)		千円	229	231	232	228
総事業費 (A+B)		千円	249	282	268	268

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	養護老人ホームへ委託し、短期宿泊の場を確保する。	委託経費	40千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市民後見推進事業

介護保険課 高齢福祉係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

認知症等により、判断能力が十分ではなく、支援を必要とする市民。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	認知症高齢者（日常生活自立度Ⅱ以上）	人	3,664	3,887	3,664	3,887
対象指標 2	知的障がい者及び精神障がい者	人	3,518	3,718	3,518	3,718

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・成年後見制度の利用や市民後見人の活動を支援するため、後見実施機関（成年後見支援センター）を運営する。
- ・市民後見人候補者を育成するための養成講座やフォローアップ研修を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託料	千円	8,565	8,567	9,550	8,189
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

成年後見制度の適正な利用により、財産管理や身上保護が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	相談対応件数（平成29年度以降）	件	638	876	698	720
成果指標 2	研修受講者数	人	23	19	17	47

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	8,599	8,672	9,757	8,603
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	912
総事業費 (A+B)		千円	9,362	9,441	10,531	9,515

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	後見実施機関運営業務委託 市民後見人フォローアップ研修の実施	後見実施機関運営業務委託料 7,722千円 市民後見人フォローアップ研修開催運営業務委託料 467千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	国の成年後見制度利用促進基本計画を勘案し、本市の成年後見制度の利用の促進に関する施策を総合的、計画的に推進するため、令和3年度に「江別市成年後見制度利用促進基本計画」を策定する。

事業名：一般介護予防事業

介護保険課参事（地域支援事業）

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり			
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

介護保険第1号被保険者（65歳以上の市民）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	65歳以上の市民	人	35,415	36,162	36,162	37,007
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・介護予防教室及び介護予防出前講話の実施
- ・住民主体の通いの場の立ち上げ支援及び通いの場への専門職派遣
- ・介護予防サポーターの養成
- ・介護予防体操の普及啓発

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	介護予防出前講話の開催回数	回	52	42	10	80
活動指標 2	通いの場等への専門職派遣回数（平成31年度～）	回	0	32	0	32

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・生活機能の維持・向上に向けた自発的な取組が実践される。
- ・介護予防に資する通いの場への参加が拡大する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	介護予防出前講話の受講人数	人	1,077	1,038	152	1,200
成果指標 2	通いの場等での専門職講話の受講人数（平成31年度～）	人	0	523	0	320

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,694	3,786	5,755	6,083
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	2,322	2,280
総事業費 (A+B)		千円	5,982	6,092	8,077	8,363

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職を活用した介護予防教室の開催</li> <li>・住民団体等への介護予防出前講話の実施</li> <li>・住民主体の通いの場の立ち上げ支援</li> <li>・住民主体の通いの場へのリハビリテーション職派遣</li> <li>・介護予防サポーター講座の開催</li> <li>・コロナ禍におけるフレイル（虚弱状態）予防対策</li> <li>・オーラルフレイル予防（口腔機能向上）対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防教室・出前講話の開催経費</li> <li>・通いの場への専門職派遣等に係る経費</li> <li>・介護予防サポーターの養成に係る経費</li> <li>・フレイル（虚弱状態）予防対策に係る経費</li> </ul>	<p>4,392千円 996千円 357千円 338千円</p>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【拡大】講師派遣型の介護予防教室の試験的実施。</li> <li>・【拡大】フレイル（虚弱状態）予防対策の企画検討及び取組実施</li> <li>・【縮小】通いの場への専門職派遣（歯科衛生士、管理栄養士ほか）に係る経費の一部を「高齢者保健・介護予防一体的実施推進事業」（健康推進室保健センター）へ事務移管</li> </ul>
-----	---

事業名：介護人材養成支援事業

介護保険課参事（企画・指導）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	04 高齢者福祉の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民（生産年齢人口及び高齢者人口）
- ・市内で介護事業所を運営する介護事業者数

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民（生産年齢人口及び高齢者人口）	人	0	0	106,056	106,305
対象指標 2	市内で介護事業所を運営する介護事業者数	事業者	0	0	67	70

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・介護に関する入門的研修の実施により、介護の仕事に興味のある新規人材の発掘・育成を行うと共に、入門的研修の修了者の中からステップアップを希望する者は、市内の介護事業所での職場実習等の就労支援までの業務を委託する。
- ・市と市内の介護事業者が連携して、介護人材確保に関する事業を進めるためのネットワークを構築する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	入門的研修の受講者	人	0	0	15	18
活動指標 2	ネットワークを構築した介護事業者数	事業者数	0	0	25	27

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・新規の介護人材の発掘及び養成を行うことにより、市内介護事業所への定着が図られる。
- ・介護事業者同士と市との間の連携により、課題の把握から協働による解決機能が促進する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	介護事業所への就労者数	人	0	0	7	10
成果指標 2	ネットワークにより連携が図られた介護事業者数	事業者数	0	0	25	27

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	10,884	13,029
正職員人件費 (B)		千円	0	0	774	760
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,658	13,789

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護業務未経験者への介護に関する入門的研修の実施</li> <li>・上記研修修了者のうち、ステップアップ希望者への下記の就労支援                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①介護職員初任者研修の受講による資格取得</li> <li>②人材派遣会社の短期雇用による職場実習</li> </ul> </li> <li>・本事業参加者と市内の介護事業所とのマッチングによる就業先の確保</li> <li>・市と市内介護事業者との連携ネットワークの構築</li> </ul>	人材派遣会社への業務委託費 13,007千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	市内介護事業所におけるアンケート等でも、多くの事業所で介護人材が不足していると答えており、今後も高齢化が進む中、介護人材の養成は急務の課題となっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響で介護従事者の離職者の増加が想定されており、人員不足によるサービス低下が懸念されることである。このようなことから、継続的かつ安定的な介護サービスの提供のためには、より多くの介護人材を養成していかなければならず、本事業の参加定員数を若干名増やす見直しを行う。

事業名：生活保護費

保護課 主査（生活保護）

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給世帯及び受給者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	生活保護受給世帯数	世帯	1,192	1,192	1,200	1,180
対象指標 2	生活保護受給者数	人	1,522	1,498	1,500	1,480

手段（事務事業の内容、やり方）

生活保護法に基づき、困窮する程度に応じて必要な支援と生活保護費の支給を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	生活保護費	千円	2,660,256	2,638,740	2,649,403	2,629,000
活動指標 2	生活保護開始世帯数	世帯	175	159	120	150

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康で文化的な最低限度の生活水準の維持と自立の助長が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	生活保護自立世帯数	世帯	87	73	60	60
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,660,256	2,638,740	2,592,000	2,629,000
正職員人件費 (B)		千円	111,354	112,230	113,019	118,591
総事業費 (A+B)		千円	2,771,610	2,750,970	2,705,019	2,747,591

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	生活保護法に基づき、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための生活保護費を適正に支出し、自立に向けた支援を行う。	生活保護費 2,629,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：年末見舞金支給事業

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進			具体的施策				
開始年度	昭和51年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮世帯  
（生活保護を受給していないが、生活保護世帯と同水準（生活保護法第8条の年収基準以下の所得水準）の世帯）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	生活困窮世帯数（把握困難のため0とする。）	世帯	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

社会福祉協議会が民生委員児童委員の協力を得て把握した対象世帯に対し、世帯構成員に応じた「世帯基本額」に「灯油加算額」（1世帯当たり200ℓの灯油購入費相当額）を加えて現金で支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	申請審査件数	件	543	523	539	555
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期の生活費の一部（暖房費等）を助成することで、生活困窮世帯を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支給世帯数	世帯	541	523	539	555
成果指標 2	支給金額	円	12,414	11,949	10,671	11,899

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	12,422	11,957	12,189	11,908
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	13,947	13,494	13,737	13,428

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	生活保護を受給していない「生活困窮世帯」に対する見舞金の支給。 対象世帯は社会福祉協議会が実施する「歳末たすけあい義援金」の対象者としている。	扶助額11,899千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：後期高齢者健診推進事業

国保年金課 国保健診係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

75歳以上の後期高齢者医療制度の被保険者（65歳以上の一定の障がい者を含む）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	後期高齢者の被保険者	人	17,034	17,579	18,111	18,519
対象指標 2	後期高齢者の健診対象者	人	15,567	16,080	16,551	16,940

手段（事務事業の内容、やり方）

被保険者の疾病予防に必要な健康診査を市内医療機関等に委託して実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	受診者数	人	829	867	617	1,185
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

健康診査受診率の向上を図り、疾病の予防及び早期発見早期治療につなげる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	健康診査受診率	%	5.33	5.39	3.73	7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,455	8,235	10,206	13,557
正職員人件費 (B)		千円	381	2,306	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	6,836	10,541	13,302	16,598

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	・後期高齢者の健康診査	・後期高齢者の健康診査実施経費 13,502千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活困窮者自立支援事業

管理課 総務係

政策	03 福祉・保健・医療			戦略				
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進			具体的施策				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給に至る前の生活困窮者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	生活困窮者数（把握困難のため0とする。）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

生活困窮者の早期把握や自立に向けた包括的かつ個別的な支援を行うとともに、支援に必要な庁内連携や民生委員、ハローワーク等外部とのネットワークの構築や共助の地域づくりに関する取り組みを委託の方法により実施する。また、離職等により住居を喪失又はそのおそれのある者に対し、家賃相当額を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	新規相談者数	人	352	307	618	307
活動指標 2	生活困窮者自立支援事業に係る委託費	千円	29,264	29,771	27,615	27,138

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生活困窮者に対し、自信回復と地域の支援をもって社会復帰を促し、負の連鎖防止についても配慮する。また生活困窮者支援を通じた地域福祉の推進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	自立者（プラン終結者）数	人	33	29	33	29
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	29,530	29,882	28,311	34,798
正職員人件費 (B)		千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	32,581	32,957	31,407	37,839

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	生活困窮者の自立支援のため、以下の取組を実施する。 ・対象者の早期把握と自立支援を行う事業（くらしサポートセンターえべつ）を委託により実施する。 ・対象者の家計管理能力の向上を支援する事業を委託により実施する。 ・対象者の就労に至るまでに必要な能力の向上を支援する事業を委託により実施する。 ・離職等により住居を失った（失う恐れのある）対象者に対し、家賃相当額の扶助を行う。	・自立相談支援事業委託費 15,068千円 ・家計改善支援事業委託費 3,046千円 ・就労準備支援事業委託費 9,024千円 ・住居確保給付金扶助費 7,660千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：特定健康診査等事業

国保年金課 国保健診係

政策	03 福祉・保健・医療		戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり					
取組の基本方針	05 安定した社会保障制度運営の推進		具体的施策	(2) 疾病予防・重症化予防の促進					
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

40～74歳の江別市国民健康保険被保険者  
特定健診受診者の内特定保健指導該当者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	特定健診対象者	人	0	17,929	17,437	17,422
対象指標 2	特定保健指導対象者	人	0	493	636	636

手段（事務事業の内容、やり方）

医療機関及び健診実施機関へ特定健康診査の実施を委託  
パンフレット、電話及び訪問による受診勧奨の実施  
特定保健指導該当者には、市直営で特定保健指導を実施  
自治会に対する特定健康診査等推進事業補助を実施  
・補助根拠：江別市国民健康保険特定健康診査等推進事業補助金交付要綱  
・補助対象事業及び金額：送迎バス等・・・基本額20,000円+参加人数×500円  
結果説明会・・・基本額 5,000円+参加人数×100円

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	特定健診受診者数	人	0	4,609	3,887	5,231
活動指標 2	特定保健指導利用者数	人	0	165	186	262

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

特定健診受診率と特定保健指導利用率の向上を図り、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病を早期に発見し、生活習慣の改善により発症と重症化を抑制する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	特定健診受診率（事務事業評価時点）	%	0	25.7	22.3	30
成果指標 2	特定保健指導利用率	%	0	33.5	29.2	41.2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	60,937	68,142	69,870
正職員人件費 (B)		千円	0	16,911	17,030	16,724
総事業費 (A+B)		千円	0	77,848	85,172	86,594

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査</li> <li>特定保健指導</li> <li>未受診者への勧奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査実施経費 46,133千円</li> <li>特定保健指導実施経費 5,622千円</li> <li>未受診者への勧奨経費 10,362千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：社会を明るくする運動助成金

管理課 総務係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	昭和31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市、新篠津村、江別警察署、江別地区保護司会、江別更生保護女性会など計20団体で構成される「社会を明るくする運動江別地区実施委員会」

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	構成団体数	団体	20	20	20	20
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「社会を明るくする運動江別地区助成金交付要綱」に基づき、「社会を明るくする運動江別地区実施委員会」に対し、事業費の一部を助成する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	180	180	180	180
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

構成団体が連携し、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」が、効果的に実施される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	事業参加者数	人	1,026	1,055	1,026	1,055
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	180	180	180	180
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	943	949	954	940

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	社会を明るくする運動江別地区実施委員会の事業の一部に対し補助金を支出。	社会を明るくする運動江別地区実施委員会への補助金180千円。

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：保護司会運営費補助金

管理課 総務係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	昭和28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別地区保護司会

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	保護司会構成員数	人	37	37	39	39
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別地区保護司会運営費補助金交付要綱」に基づき、江別地区保護司会に対し、運営費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	676	676	676	676
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護司会の安定的運営が図られ、保護司活動の維持向上が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	犯罪予防活動等回数（年間）	回	56	47	56	47
成果指標 2	研修会参加者数	人	331	227	331	227

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	676	676	676	676
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,439	1,445	1,450	1,436

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別地区保護司会の運営費（事務局費、研修費など）の一部に対し補助金を支出。	江別地区保護司会への補助金 676千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：乳幼児健康診査推進事業

保健センター 管理係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和56年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の乳幼児及びその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市在住の4か月、10か月、1歳6か月、3歳に到達する乳幼児数	人	2,824	2,678	3,051	2,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・4か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に健康診査を実施。必要に応じその後も経過観察を継続する。
- ・健康診査内容：医師による診察、保健・栄養・育児の相談指導。幼児期には歯科検診を実施。
- ・上記健康診査において、より詳細な発育・発達支援が必要な児については、発達健診にて診察・指導及び経過観察等を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	乳幼児健診実施回数	回	84	77	95	102
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・全ての乳幼児とその保護者が、健やかな成長や発達について確認できる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	各健診平均受診率	%	98.5	97.9	96.3	97.1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	12,180	13,821	16,651	25,378
正職員人件費 (B)		千円	15,254	15,374	15,482	15,204
総事業費 (A+B)		千円	27,434	29,195	32,133	40,582

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診、発達健診を保健センターにて実施。</li> <li>・10か月児健診を市内医療機関委託により実施。</li> </ul>	保健センター実施分健診費用	15,119千円
		10か月児健診委託分費用	4,583千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症対策として、健診ごとの呼び出し人数を少なくし、代わりに回数を増回して実施しているため、経費も増加している。

事業名：母子保健指導事業

保健センター 管理係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の妊婦とその夫、乳幼児及びその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	年間妊娠届出数	人	616	614	607	612
対象指標 2	0～3歳の乳幼児数	人	2,886	3,005	3,055	3,055

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・オンラインマタニティスクール、プレママプレパクラス、離乳食教室は、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士による講義・実習・参加者同士の交流等を実施する。
- ・親子健康相談、10か月児健診事後相談は対象者に個別相談を実施。
- ・1歳6か月児健診事後教室として、小集団による相談指導を実施。
- ・各種団体や来所・電話などで随時相談を受け、保健師・栄養士・歯科衛生士による保健指導を実施。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	健康教育延べ実施回数	回	42	36	71	93
活動指標 2	定例健康相談実施回数	回	57	54	46	58

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

妊婦とその夫、乳幼児および保護者が正しい知識を得たり、仲間作りの機会となる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	健康教育延べ参加人員	人	1,126	1,024	325	600
成果指標 2	相談延件数	人	4,628	4,459	3,695	3,700

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,628	3,892	4,204	3,944
正職員人件費 (B)		千円	14,873	12,684	12,773	12,543
総事業費 (A+B)		千円	18,501	16,576	16,977	16,487

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子健康相談、10か月児健診事後相談、1歳6か月児健診事後教室</li> <li>・オンラインマタニティスクール、プレママプレパクラス、離乳食教室、地区健康教育、出張育児体験</li> </ul>	母子保健相談職員報酬：3,000千円 オンラインマタニティスクール職員報酬等費用：7千円 離乳食教室職員報酬と消耗品等費用：305千円 地区健康教育職員報酬：20千円 出張育児体験職員報酬とテキスト等費用：192千円	

3年度への改善方向性(2月時点)		改善方向性選択理由（維持以外は記載）	
見直し	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面型での相談件数は減少傾向であった。しばらくこの傾向は続くと思われるが、今後もオンラインの活用や少人数で予約制とするなど感染対策に留意しながら、妊婦やその家族、乳幼児とその保護者が安心して参加・相談できる体制を整えていく。		

事業名： 歯科相談経費

保健センター 管理係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の1歳以上就学前の幼児とその保護者及び妊娠中の方

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市在住の1歳以上就学前の幼児数	人	4,916	5,082	5,082	5,109
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

保健センターで行う、1歳6か月児健診、3歳児健診と同日に、希望者及び必要な幼児に対し、「歯科医師」による診察・指導、「歯科衛生士」による生活（食事、ブラッシング等）の相談・指導を実施する。また、希望者に歯面を強くするためのフッ化物を歯面塗布する。「妊婦歯科健診」では、妊婦に対して「歯科医師」による診察・指導、「歯科衛生士」による相談・指導を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	歯科相談・フッ素塗布実施回数	回	48	44	56	66
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

歯と口の健康意識が高まり、歯の強化、う歯の予防・早期発見・早期治療により、生涯健康な歯で暮らす為の基礎をつくることができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	歯科相談・フッ素塗布実施人数	人	1,599	1,324	1,300	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,354	1,286	1,677	1,860
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	1,735	1,670	2,064	2,240

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科相談</li> <li>・ フッ素塗布</li> <li>・ 妊婦歯科健診</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医師報酬 612千円</li> <li>・ 歯科衛生士報酬 1,054千円</li> <li>・ 歯科教材費等 194千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和3年度は新型コロナウイルスへの感染対策のため、乳幼児健診の1回あたりの人数を制限して健診回数を増加し実施する。乳幼児健診の実施回数増加に伴い、歯科相談・フッ素塗布も回数を増加し、人数を制限して実施する。

事業名： 予防接種経費

保健センター 管理係

政策	06 子育て・教育			戦略			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策			
開始年度	昭和26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

定期接種対象の20歳未満の市民

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	20歳未満の市民	人	19,466	19,502	19,502	19,474
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

定期接種（ロタ、ヒブ、小児肺炎球菌、四種混合、B型肝炎、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、不活化ポリオ、二種混合、子宮頸がん予防ワクチン）について周知し、市内委託医療機関にて個別に接種する。

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に対し、令和元年度から3年間にわたって「風しんの追加的対策」が実施されることとなった。全国知事会と日本医師会の集合契約に基づき、市内医療機関をはじめ全国の医療機関・検診機関において風しんの抗体検査及び予防接種を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	麻しん風しん混合2期個別通知数	人	886	904	885	891
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

予防接種の必要性を理解し、ワクチンを接種することで感染、発病を防ぐとともに重症化を予防することができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	麻しん風しん混合2期接種率	%	94.5	98.8	96.5	99
成果指標 2		%				

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	193,876	201,187	207,734	216,528
正職員人件費 (B)		千円	12,585	13,452	13,934	13,684
総事業費 (A+B)		千円	206,461	214,639	221,668	230,212

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	予防接種についての周知 ・乳幼児予防接種セットの配布 ・麻しん・風しん2期対象者への個別通知 ・DT（二種混合）2期対象者への個別通知 ・日本脳炎対象者への個別通知 ・HPVワクチン対象者への権利通知 ワクチン接種～市内医療機関へ委託	予防接種予診票印刷製本費（2年度分）	627千円
		個別通知郵送料 ワクチン代 個別接種委託料 データ入力委託料	468千円 34,561千円 172,531千円 978千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	HPVワクチンは定期接種化した後、厚生労働省の通知により積極的勧奨を控えてきているが、接種する権利について周知されていないことから、令和2年10月9日付厚生労働省通知に基づき、対象者及びその保護者へ「権利通知」を実施することとした。

事業名：妊産婦健康診査経費

健康推進室参事（子育て世代包括支援）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・江別市に住民登録しており、妊娠届出を行なった妊婦  
 ・転入してきた妊婦

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	妊婦一般健康診査受診票交付実人員	人	683	696	689	692
対象指標 2	産婦健康診査受診票交付実人員	人	0	358	640	629

手段（事務事業の内容、やり方）

「妊婦一般健康診査受診票」「超音波検査受診票」「産婦健康診査受診票」を交付。妊娠期間中に規定の検査（北海道と道医師会で契約）を医療機関に委託実施し、妊産婦の健康管理を行なう。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	妊婦一般健康診査受診実人員	人	640	662	656	658
活動指標 2	産婦健康診査受診実人員	人	0	272	512	504

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

<妊婦健診>  
 妊婦が自らの健康管理に目を向け、妊娠期の健康の保持・増進に努めることで、出産を無事に迎えることができる。  
 <産婦健診>  
 健診費用の助成により、産婦の健康状態の確認や産後うつ等の早期発見などの必要な支援が提供され、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制が整備される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	妊婦健康診査受診率	%	93.7	95.1	95.2	95.1
成果指標 2	産婦健康診査受診率	%	0	76	80	80

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	51,371	51,601	49,589	53,654
正職員人件費 (B)		千円	3,051	1,537	1,548	2,281
総事業費 (A+B)		千円	54,422	53,138	51,137	55,935

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「妊婦一般健康診査受診票」「超音波検査受診票」「産婦健康診査受診票」の交付</li> <li>妊産婦健康診査を医療機関へ委託（北海道と道医師会で契約）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦健康診査委託料 50,177千円</li> <li>産婦健康診査委託料 2,850千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	昨年度「子育て世代包括支援事業」に計上していた「産婦健康診査経費」について、事務・業務の効率化のため「妊産婦健康診査経費」と名称を変更して事業統合し、妊婦及び産婦健康診査を一体的に実施するため保健センターから移管した。

事業名：子育て知識啓発事業

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就学前児童とその保護者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 就学前児童数	人	4,639	4,783	4,783	4,810
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

子育て支援センター「すくすく」において、次の地域子育て支援拠点事業を実施する。

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助
- ・地域子育て関連情報等の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習会等の開催

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 すくすくひろば開放日数	日	251	226	219	253
活動指標 2 事業（講習会等）実施数	回	65	56	39	49

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護者が安心して子育てが行えるとともに、児童が健やかに育つようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 すくすくひろば利用組数	組	7,841	4,014	3,000	3,300
成果指標 2 事業参加組数	組	732	594	177	450

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	742	241	329	338
正職員人件費 (B)	千円	11,822	9,993	10,063	9,883
総事業費 (A+B)	千円	12,564	10,234	10,392	10,221

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・子育てのための講習会の開催 ・子育て情報の提供	・報酬 141千円 ・報償費 100千円 ・消耗品費 97千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て支援短期利用事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童数	人	4	1	4	4
対象指標 2	18歳未満の児童数	人	16,720	16,834	16,834	16,780

手段（事務事業の内容、やり方）

疾病、出産、看護、事故、災害、出張等の社会的事由により一時的に児童の養育が困難となった保護者から申請書を受理し、内容確認の上、児童を児童養護施設において一定期間（原則7日間まで）養育・保護する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託している児童養護施設数	施設	2	2	2	2
活動指標 2	養護相談件数	件	265	252	260	260

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護者が一時的に児童の養育が困難となった場合でも、児童を預けられることにより、安心して子育てができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童養護施設を利用した児童の延べ利用日数	日	30	7	28	28
成果指標 2	児童養護施設を利用した児童数	人	4	1	4	4

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	212	19	184	184
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	975	788	958	944

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	保護者が一時的に養育困難となった家庭の児童を一定期間養育・保護する。	受け入れ施設への委託料 184千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子ども医療費助成事業

医療助成課 医療助成係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に居住する0歳～中学校修了前までの子ども

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	市内に居住する0歳児～中学生の人数（H31年度までは0歳児～小学生）	人	11,277	11,470	14,518	14,582
対象指標 2	子ども医療費受給者数（H31年度までは0歳児～小学生）	人	9,751	9,989	13,118	7,358

手段（事務事業の内容、やり方）

（助成範囲）  
 ・0歳～小学3年生：通院・入院・指定訪問看護  
 ・小学4年～中学生：入院・指定訪問看護  
 （助成内容）  
 ・保険適用医療費の自己負担分から、受給者の年齢や世帯の住民税課税状況に応じて次の額を控除した額を助成  
 ①初診時一部負担金（医科580円 歯科510円）  
 ②1割負担（月額上限額 入院57,600円＜多数回該当44,400円＞ 通院18,000円＜月額上限144,000円＞）  
 ③指定訪問看護は1割負担（月額上限額 住民税非課税世帯8,000円 住民税課税世帯18,000円）  
 （やり方）  
 保護者の申請に基づき資格審査をし、受給者証を交付。医療機関に受給者証を提示することにより助成。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	子ども医療費給付額	千円	145,378	153,540	153,933	187,000
活動指標 2	子ども医療費受診件数	件	84,443	88,982	87,899	118,925

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護者の医療費の負担軽減を図り、あわせて子どもの健康を増進し、安心して暮らすことができるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	子ども医療費1人あたり年間平均受診件数	件	8.7	8.9	11	16.2
成果指標 2	子ども医療費年間1人あたりの医療費	円	14,909	15,371	19,230	25,415

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費(A)	千円	145,378	153,540	180,542	187,000
正職員人件費(B)	千円	8,390	8,456	8,515	8,362
総事業費(A+B)	千円	153,768	161,996	189,057	195,362

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 0歳から中学校修了前までの子どもの医療費自己負担分一部助成	医療費 187,000千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：民間子育て支援センター委託費

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

民間子育て支援センター（地域子育て支援拠点施設）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	民間子育て支援センター数	園	6	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

次の地域子育て支援拠点事業を実施する民間子育て支援センター（地域子育て支援拠点施設）に対し、事業運営にかかる経費を委託費として交付する。  
 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進  
 ・子育て等に関する相談、援助  
 ・地域子育て関連情報等の提供  
 ・子育て及び子育て支援に関する講習会等の開催

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	子育て支援センター委託料	千円	34,433	33,383	36,619	37,187
活動指標 2	開館日数（一ヶ所あたり）	日	199	196	200	222

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民間子育て支援センターの適切な運営によって、地域の子育て支援機能を充実させる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	民間子育て支援センター年間利用者数	人	19,798	19,239	12,000	15,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	34,433	33,383	36,619	37,187
正職員人件費 (B)		千円	2,669	2,690	2,709	2,661
総事業費 (A+B)		千円	37,102	36,073	39,328	39,848

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	民間子育て支援センターにおいて次の事業を実施する ・子育て世代の交流及びあそび場の提供 ・子育てに関する相談 ・子育てに関する講習会等の実施 ・子育て情報の提供	・委託料	37,187千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：延長保育事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

延長保育を必要とする児童

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 延長保育申請登録者数（民間）	人	716	872	860	939
対象指標 2 延長保育申請登録者数（公立）	人	120	121	120	125

手段（事務事業の内容、やり方）

就労等の状況により保育時間の延長が必要な入所児童を対象に、保育認定時間を延長し保育を公立保育所で実施する。また、同事業を実施する民間保育施設等に対し、その運営費を補助する。  
 ・実施園：市内認可保育施設（認定こども園含む）全園  
 ・保育時間（1時間単位で実施）：[保育標準時間認定] 18:15～19:15  
 : [保育短時間認定] 7:15～ 8:15、16:15～19:15  
 【補助金の根拠】「江別市延長保育事業実施要綱」、「江別市保育対策等促進事業等補助要綱」

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 民間保育園に対する補助金額	千円	12,678	16,162	16,277	19,307
活動指標 2 公立保育園の事業費	千円	143	190	328	328

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

延長保育の需要に対応することで、子育てと仕事の両立が図られるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 延長保育延べ利用者数	人	18,887	23,766	20,550	23,150
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	12,821	16,352	19,532	19,635
正職員人件費 (B)	千円	38,135	38,435	38,705	38,010
総事業費 (A+B)	千円	50,956	54,787	58,237	57,645

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・公立保育所における延長保育の運営 ・民間保育施設における延長保育の運営に対する補助	・公立保育所の延長保育運営経費 328千円 ・民間保育施設への運営費補助 19,307千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：一時預かり事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策			
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一時預かりを必要とする児童

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 一時預かり登録児童数	人	1,124	1,202	1,319	1,192
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

一般型：主に保育施設を利用していない家庭において、保護者の就労形態や傷病、出産、冠婚葬祭及び育児疲れ解消等一時的に保育が必要な家庭を対象とした預かり保育を実施する施設へ運営費の一部を補助する。  
 幼稚園型：幼稚園等の教育施設での基本利用時間以降や土曜日に行う預かり保育を実施する施設へ補助する。  
 【補助金の根拠】「江別市一時預かり事業実施要綱」、「江別市保育対策等促進事業等補助要綱」

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 民間実施園に対する補助金額	千円	51,175	52,993	70,724	78,695
活動指標 2 公立実施園の事業費	千円	5,513	5,987	11,312	12,548

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

一時的に家庭での保育が困難となった子どもの保育に対応する。また、幼稚園等の教育施設においても基本利用時間以降に、家庭での保育が困難となった子どもを継続して預かることで、子育てを支援するとともに、子どもの健やかな育ちが支援される。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 一時預かり延べ利用者数	人	65,396	72,143	83,864	85,202
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	56,688	58,980	75,938	91,243
正職員人件費 (B)	千円	10,678	16,911	17,030	16,724
総事業費 (A+B)	千円	67,366	75,891	92,968	107,967

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・公立保育所における一時預かり事業の運営 ・民間保育所、幼稚園、認定こども園における一時預かり事業の運営に対する補助	・公立保育所の一時預かり事業運営経費 12,548千円 ・民間保育施設への運営費補助 78,695千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 保育園維持管理経費

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立保育所入所児童（公設民営を除く）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市立保育所（公設民営を除く）延入所児童数	人	3,198	3,220	3,240	3,240
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市立保育所の施設について、安心かつ安全な保育が実施できるよう適正な維持管理を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	維持・管理経費	千円	30,730	30,465	32,738	33,179
活動指標 2	開園日数	日	292	289	293	293

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市立保育所において、施設等の適切な維持管理を行うことで、入所者に対して安全で安心な保育が提供される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	市立保育所入所率	%	98.7	99.4	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	30,730	30,465	32,738	33,179
正職員人件費 (B)		千円	2,669	1,537	1,548	3,041
総事業費 (A+B)		千円	33,399	32,002	34,286	36,220

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	市立保育所の施設維持管理	・ 光熱水費等	9,843千円
		・ 清掃管理委託料	16,959千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： 保育園運営経費

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立保育所入所児童（公設民営除く）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市立保育所（公設民営を除く）延入所児童数	人	3,198	3,220	3,240	3,240
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市立保育所入所児童について、児童福祉法及び子ども・子育て支援法の規定に基づき国の定めた保育指針に応じた適正な保育を実施する。（保育時間：7時15分～18時15分）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	市立保育所（公設民営を除く）	箇所	2	2	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市立保育所において、適切な保育運営が行われることで、児童に対して法や指針に基づいた適切な保育環境が提供される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	市立保育所入所率（公設民営を除く）	%	98.7	99.4	100	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	98,506	176,778	118,596	127,084
正職員人件費 (B)		千円	399,655	393,574	396,339	383,141
総事業費 (A+B)		千円	498,161	570,352	514,935	510,225

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	市立保育所（公設民営除く）の運営	市立保育所（公設民営除く）の運営費 127,084千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：民間保育施設等運営費補助金

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の民間認可保育施設

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 補助対象施設（保育施設）	園	22	25	27	30
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市民間保育施設運営費補助要綱により民間保育施設等の適正な運営維持を図るため、保育所賠償責任保険等加入補助・調理員雇用費補助・非常勤調理員加配置分補助・個別支援保育担当保育士雇用費補助等を前期と後期に分けて交付する。  
【補助金の根拠】「江別市民間保育施設等運営費補助要綱」

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	92,393	106,032	106,351	113,220
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民間保育施設運営費補助要綱に基づき運営費の補助を行い、民間保育施設等の経営安定と自立助長を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 補助金交付により、健全な運営状態にある民間認可施設（保育施設）	園	22	25	27	30
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	92,393	106,032	106,351	113,220
正職員人件費 (B)	千円	3,051	3,075	3,096	3,041
総事業費 (A+B)	千円	95,444	109,107	109,447	116,261

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	民間保育施設等に対して、メニューごとに個別に補助の交付を行う。	保育所賠償責任保険等加入補助	636千円
		調理員雇用費補助	3,446千円
		非常勤調理員加配置分補助	7,526千円
		個別支援保育担当保育士雇用費補助等	41,210千円
		1歳児担当保育士加配分	60,402千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：民間社会福祉施設整備費補助事業 子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

施設整備を行う民間教育・保育施設

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 国の補助を受けて施設建設を行った民間保育園	箇所	11	12	14	19
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市民間児童福祉施設等整備費補助要綱に基づき、国の「保育所等整備交付金」「認定こども園施設整備交付金交付要綱」「保育対策総合支援事業費補助金」等を財源に、施設整備を行う法人に対し建設費の一部補助を行う。

【補助金の根拠】江別市民間児童福祉施設等整備費補助要綱

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	140,963	269,391	182,431	611,256
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設整備に対し補助を行い、当該法人の安定経営に資することで、施設整備の促進を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 補助により快適な保育環境の整備が促進された民間保育施設	箇所	11	12	14	19
成果指標 2 拡大された定員数（累積）	人	233	265	345	696

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	140,963	271,618	182,431	611,256
正職員人件費 (B)	千円	3,814	3,844	3,871	3,801
総事業費 (A+B)	千円	144,777	275,462	186,302	615,057

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に係る債務負担補助</li> <li>保育施設整備に係る補助</li> <li>事故防止対策に必要な備品の購入に係る補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備に係る債務負担補助 18,566千円</li> <li>保育施設整備に係る補助 589,690千円</li> <li>事故防止対策に係る備品購入補助 3,000千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：私立幼稚園補助金（連合会補助金）

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

私立幼稚園連合会、市内各幼稚園

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	加盟幼稚園数	園	12	12	12	12
対象指標 2	加盟幼稚園の教職員数	人	275	286	286	286

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、私立幼稚園連合会に対して、研修、広報、PTA活動等に必要経費を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	500	500
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

幼稚園教職員の資質向上を図るため研修事業を実施するほか、市民や保護者に各園の特色について理解を深めてもらうため、広報活動を積極的に展開するようになる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	研修会参加人数	人	100	225	180	180
成果指標 2	配布したパンフレットの数	部	49,641	49,702	50,000	50,000

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	500	500	500	500
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,263	1,269	1,274	1,260

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	研修事業及び広報活動、PTA連合会活動事業に対する補助事業	研修事業及び広報活動への補助	400千円 PTA連合会活動事業への補助 100千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：私立幼稚園補助金（運営費補助金）

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子ども・子育て支援新制度に移行していない市内幼稚園

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	子ども・子育て支援新制度に移行していない市内幼稚園数	園	5	3	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、市内各幼稚園に対し補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	10,745	7,310	3,549	4,186
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

特色ある幼児教育を展開し、幼児に対する早期の教育振興を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	就園率	%	30	19.3	9.94	9.94
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	10,745	7,310	4,412	4,186
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	760
総事業費 (A+B)		千円	12,270	8,847	5,960	4,946

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）		
3年度	市内私学助成幼稚園に対する運営費補助	補助金配分項目		
		・均等割	1園あたり	150千円
		・教職員割	1人あたり	30千円
		・学級割	1学級あたり	70千円
		・預かり保育割	延べ園児1人あたり	100円
		・未就園児保育	延べ園児1人あたり	70円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名： 私立幼稚園補助金（特別支援教育補助金） 子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内幼稚園及び認定こども園（特別支援教育実施園）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	特別支援教育実施園数	園	12	11	13	15
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市私立幼稚園補助金交付規則」に基づき、障がいのある幼児等を受け入れている幼稚園に対し、補助金を交付する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	2,480	2,660	2,440	3,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

負担が軽減され、障がいのある幼児等の受入体制が充実する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	障がい児等対応補助教諭	人	60	94	70	90
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,480	2,660	3,000	3,400
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	3,243	3,429	3,774	4,160

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	障がいのある幼児を受け入れている幼稚園に対する補助	障がい児対応補助教諭	100千円/人 通所受給児童対応補助教諭 20千円/人

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 児童館地域交流推進事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実	具体的施策	(3) 学齢期児童への支援					
開始年度	昭和46年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び高校生

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内小中学生及び高校生の数（5月1日）	人	13,254	13,006	13,006	13,143
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の大人との指導・交流を通して、遊び、行事、イベントなどの活動を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	年間開館日数	日	292	262	261	293
活動指標 2	延べイベントメニュー数	件	252	226	180	230

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童の協調性、自主性、可能性を引き出すことで、放課後における児童の健全育成が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	対象者 1人当たりの年平均利用日数	日	3.1	2.4	1.9	2.4
成果指標 2	行事・イベントに参加するボランティアの人数	人	67	67	7	30

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	52,206	54,533	62,564	66,190
正職員人件費 (B)		千円	3,814	4,612	5,419	5,321
総事業費 (A+B)		千円	56,020	59,145	67,983	71,511

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	児童センター（市内7か所）の開設 開設日 月曜日から土曜日（祝日を除く） 開設時間 午前9時から午後5時 （土曜日及び学校休業日） 午前11時から午後5時 （土曜日及び学校休業日以外の日）	会計年度任用職員報酬・諸手当等	53,558千円 燃料費 657千円 光熱水費 2,021千円 修繕費 543千円 委託料 5,272千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：放課後児童クラブ運営費補助金

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		具体的施策	(3) 学齢期児童への支援					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

民間放課後児童クラブ

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 民間放課後児童クラブの数	か所	16	18	18	21
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するために設置運営される民間放課後児童クラブに対し運営費を補助する。
- ・「江別市民間放課後児童クラブ運営費補助金交付要綱」に基づき、利用児童数、開設日数、開設時間等に応じ、補助する。また、新規開設クラブ等に対する施設整備費を補助する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	98,129	112,160	128,544	146,056
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民間開設の放課後児童クラブが安定した経営を維持することで、留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 民間放課後児童クラブに入会した児童数	人	561	600	570	719
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	98,129	112,160	135,134	147,833
正職員人件費 (B)	千円	4,195	4,997	5,419	6,082
総事業費 (A+B)	千円	102,324	117,157	140,553	153,915

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 民間開設団体に対する運営費及び施設整備等補助金等	運営費補助金 142,056千円 施設整備等補助金 4,000千円 クラブ閉鎖に伴う引継保育委託料 1,777千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：放課後児童クラブ運営事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策	(3) 学齢期児童への支援			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公設民営で設置している放課後児童クラブがある小学校の児童

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	公設民営の放課後児童クラブがある小学校の児童数（5月1日）	人	449	452	452	455
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するため、放課後児童クラブを公設民営で設置する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開設日数	日	292	281	293	293
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	公設民営の放課後児童クラブに登録のある児童数（5月1日）	人	64	63	64	64
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	14,863	15,762	16,146	16,404
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	16,388	17,299	17,694	17,924

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	公設民営で設置している放課後児童クラブの運営	運営業務に係る委託料	15,886千円
		光熱水費	309千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：東野幌青少年会館管理運営費

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和46年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

東野幌青少年会館

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	か所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度の活用による施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開館日数	日	359	360	317	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設を適正に維持、管理することで、地域住民（児童・成人）が交流拠点施設として、安心・安全に利用できる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	延べ利用人数	人	16,128	13,923	7,700	10,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,792	7,142	7,270	7,451
正職員人件費 (B)		千円	763	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	7,555	8,679	8,818	8,971

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	指定管理者による東野幌青少年会館の維持・管理	指定管理料	7,215千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：豊幌こども広場開設事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

豊幌小学校区のこども広場開設事業者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・PTA、自治会、学校の三者によりこども広場を設置し、小学校の余裕教室を利用して希望者に対し放課後支援活動を実施している団体に対し、運営費の一部を補助する。
- ・「江別市こども広場運営費補助金交付要綱」に基づき、運営費の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	203	203	203	339
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供することで放課後の活動を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	参加児童数	人	3	4	3	3
成果指標 2	開設日数	日	289	287	290	291

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	203	203	339	339
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	584	587	726	719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	豊幌地区におけるこども広場開設事業者に対する運営費補助	子ども広場開設団体への補助金 339千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ひとり親家庭等日常生活支援事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一時的に生活援助、保育サービスが必要な母子・寡婦・父子家庭

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童扶養手当受給資格者数（12月末）	世帯	1,085	1,063	1,063	1,011
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

就業等の自立促進のためや疾病などの事由により、団体と支援員派遣の委託契約を行い、一時的にサービスが必要な家庭に支援員を派遣し、生活援助（食事・介護他）、子育て支援（保育サービス等）を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	支援員派遣の委託先	件	2	2	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安心して子どもを預けられ、又は生活が送れるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用世帯数	世帯	0	0	1	1
成果指標 2	利用実績時間数	時間	0	0	20	20

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	37	38
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	763	769	811	798

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	一時的にサービスが必要な家庭に支援員を派遣する。	支援を実施する団体への委託料 38千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：交通事故等災害遺児手当

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和44年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

交通事故等の災害により生計の中心となる者を失った遺児の養育者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	交通事故等遺児手当受給世帯	世帯	2	2	2	2
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

交通事故等の災害により生計の中心となる者を失った遺児の養育者に対して幼児2,000円/月、小中学生2,500円/月、高校生3,000円/月の養育手当を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	支給回数	回	2	2	2	2
活動指標 2	広報手段の数	回	4	4	4	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

養育費の一部経済的支援により、交通事故等災害遺児を健全に育成養育する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支給遺児児童数	人	4	4	4	3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	126	126	132	96
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	507	510	519	476

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	交通事故等災害遺児手当の支給（9月及び3月）	交通事故等災害遺児手当 96千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：母子・父子福祉相談事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭・父子家庭世帯及び寡婦世帯

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童扶養手当受給資格者数（12月末）	世帯	1,085	1,063	1,063	1,011
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

離婚等により母子・父子・寡婦（配偶者と死別）となった世帯に対し、電話や面接による相談に応じ、自立や生活に必要な資金の貸付等の情報提供、必要な助言や指導を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	母子・寡婦相談日数（年間）	日	245	241	243	242
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

母子世帯・父子世帯・寡婦世帯の精神的、経済的な安定が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	貸付決定件数	件	115	105	130	130
成果指標 2	延相談件数	件	891	842	800	800

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,492	1,686	2,066	2,192
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,255	2,455	2,840	2,952

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	母子・父子自立支援員による相談・支援 法律相談会の開催	母子・父子自立支援員報酬等 法律相談会開催経費	2,127千円 60千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：家庭児童相談事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

問題を抱えている児童を持つ保護者等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	18歳未満の児童数	人	16,720	16,834	16,834	16,780
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

相談員による電話及び面接相談により、児童及び家庭内における問題の状況を聞き、対応や解決方法などを指導・助言し、事例によっては関係機関との連携により対応する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	相談開設日数（年間）	日	245	241	243	242
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童や家庭環境の問題を解決することにより、児童の健全育成と家庭内の不安解消が図られる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	終結とした件数	件	308	311	300	300
成果指標 2	実相談件数	件	364	363	380	380

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,874	1,860	2,017	2,135
正職員人件費 (B)		千円	8,390	7,687	3,871	3,801
総事業費 (A+B)		千円	10,264	9,547	5,888	5,936

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	家庭児童相談員による相談・支援	家庭児童相談員報酬等 2,127千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：江別市家庭児童対策地域協議会事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

虐待及び暴力を受けている要保護児童（虐待及び暴力を受ける可能性のある児童も含む）並びに配偶者等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童虐待と思われる相談件数	件	134	130	150	150
対象指標 2	DVと思われる相談件数	件	14	9	20	20

手段（事務事業の内容、やり方）

関係機関・団体がネットワークを組み、共通の認識をもちながら連携するために江別市家庭児童対策地域協議会を設置し、虐待等の要保護児童の情報を収集し、発生予防、早期発見、早期対応を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	連絡会議及び事例検討会議等の開催回数	回	47	39	42	44
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

虐待・DVの未然防止と被害拡大を防止することで、児童の健全な育成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	虐待・DV等延相談対応回数	回	1,105	1,053	1,240	1,240
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	4,412	4,356	189	184
正職員人件費 (B)		千円	763	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	5,175	5,893	1,737	1,704

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	関係者会議・研修会の開催 関係者会議・スキルアップ研修への参加	関係者研修会開催経費 関係者会議・スキルアップ研修参加経費	40千円 141千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 障害児通所支援事業運営費

子ども発達支援センター 主査（指導）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

発達に障がいや遅れのある児童およびその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	通所受給者証の交付を受けた保護者（児童）数	人	662	788	894	1,000
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

児童発達支援事業所あゆみ・こだまに通所している児童への発達支援および保護者支援を実施する

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	児童発達支援事業所あゆみ・こだまにて契約した保護者（児童）数	人	205	184	159	184
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童と保護者の不安が軽減することや発達が促されることで生活の質が向上する

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童の発達が促されたと感じる保護者の割合	%	94	99	100	100
成果指標 2	不安が軽減したと感じる保護者の割合	%	94	94	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	12,873	20,633	22,334	22,920
正職員人件費 (B)		千円	34,322	34,592	30,964	22,806
総事業費 (A+B)		千円	47,195	55,225	53,298	45,726

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援事業</li> <li>放課後等デイサービス事業</li> <li>保育所等訪問支援事業</li> <li>居宅訪問型児童発達支援事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常勤職員報酬 17,957千円</li> <li>職員諸手当 2,841千円</li> <li>療育教材費 270千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、補正予算にてタブレット端末等を購入し、オンライン支援が行える環境を整備したところである。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、オンライン支援を活用する。

事業名：地域療育体制推進事業

子ども発達支援センター 主査（指導）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害児通所支援事業所および療育関係機関

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	障害児通所支援事業所および療育関係機関数	団体	34	34	37	44
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

自立支援協議会子ども部会による連携会議および研修会等を企画し実施する

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	自立支援協議会子ども部会の開催回数	回	6	5	5	6
活動指標 2	研修会等の開催回数	回	6	5	0	5

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

連携の促進と関係職員の資質向上による効果的な療育体制の推進が図られるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	自立支援協議会子ども部会参加延べ人数	人	262	306	224	260
成果指標 2	研修会等の参加延べ人数	人	433	425	0	305

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	161	114	105	134
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	7,741	7,602
総事業費 (A+B)		千円	3,975	3,958	7,846	7,736

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援協議会子ども部会の開催</li> <li>・ 地域療育関係機関職員研修の開催</li> <li>・ 保護者向け子育て講座の開催</li> <li>・ 連携体制整備に係る情報交換会の開催</li> <li>・ 出前講座への講師派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修会講師謝礼</li> </ul>	65千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、補正予算にてタブレット端末等を購入し、オンライン研修会等の開催ができる環境を整備したところである。子ども部会については令和2年8月よりオンラインで開催しており、引き続き令和3年度もオンラインで開催を予定している。その他の研修会についてはソーシャルディスタンスを保つため、参加人数の見直しやオンライン開催についても検討しているところである。

事業名：子ども発達支援推進事業

子ども発達支援センター 主査（指導）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和52年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

発達に心配がある児童およびその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	発達相談を受けた児童数	人	208	319	342	356
対象指標 2	通所受給者証の交付を受けた保護者（児童）数	人	662	788	748	1,000

手段（事務事業の内容、やり方）

乳幼児健診への派遣、幼稚園・保育園・学校への巡回による発達相談および来所による発達相談を実施する。障がい福祉サービスを受けるための相談に応じ、ケアマネジメントおよび障がい児支援利用計画書を作成する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	発達相談延べ件数	件	402	579	557	606
活動指標 2	障がい児支援利用計画書作成件数	件	388	443	451	502

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童と保護者の不安が軽減し、発達上の遅れや障がいに応じて療育の紹介を受けられるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	療育を紹介した児童数	人	108	144	153	153
成果指標 2	不安が軽減したと感じる保護者の割合	%	100	97	100	100

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	18,540	10,733	11,809	13,610
正職員人件費 (B)		千円	22,881	23,061	23,223	22,806
総事業費 (A+B)		千円	41,421	33,794	35,032	36,416

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>発達に関する相談</li> <li>各種発達検査の実施</li> <li>保健センターへの健診派遣協力</li> <li>幼稚園・保育園への巡回相談および巡回機関支援</li> <li>特別支援教育（専門家チーム）支援</li> <li>その他関係機関との連携</li> <li>障がい児支援利用計画書作成および児童調査の実施</li> </ul>	報酬	9,797千円
		職員手当等	1,972千円
		事務用品	108千円
		一般使用料賃借料	627千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	新型コロナウイルス感染症への対応として、補正予算にてタブレット端末等購入し、オンライン支援ができる環境を整備したところである。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、オンライン支援を活用する。

事業名：おもちゃ図書館運営費補助金

管理課 総務係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	昭和63年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

おもちゃ図書館を運営する団体

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	おもちゃ図書館を運営する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「江別市おもちゃ図書館運営費補助金交付要綱」に基づき、「おもちゃ図書館」を運営する団体に対し、運営費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	350	350	350	350
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

障がい児の療育を支援するためのおもちゃ図書館を円滑に運営することができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	利用者数（年間）	人	325	255	325	255
成果指標 2	おもちゃの貸出点数（年間）	点	364	248	364	248

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	350	350	350	350
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,113	1,119	1,124	1,110

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	おもちゃ図書館の運営費（購入費、行事費など）の一部に対し補助金を支出。	おもちゃ図書館を運営する江別市女性団体協議会への補助金 350千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：乳幼児虐待予防支援事業

保健センター 管理係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の妊産婦、乳幼児と保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	江別市在住の乳幼児と保護者（0 - 6歳の乳幼児）	組	5,520	5,716	5,716	5,759
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

妊娠届出・赤ちゃん訪問・乳幼児健診等において育児不安・育児困難等があり、虐待予防の視点から支援が必要と思われる親子をアンケート・面接等によりスクリーニングする。その結果、支援が必要と思われる親子への支援内容・方針を検討し、訪問・電話・健診等により支援を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	要支援者数	人	281	219	264	227
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

育児不安・育児困難な状況を改善し、親子が健やかに生活することができる。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	個別支援回数	回	828	846	1,031	885
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,736	2,898	2,220	2,108
正職員人件費 (B)		千円	17,161	15,758	15,869	15,584
総事業費 (A+B)		千円	20,897	18,656	18,089	17,692

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・赤ちゃん訪問 ・乳幼児健診等により、育児不安、育児困難等を把握した妊婦、親子への個別支援	赤ちゃん訪問経費	121千円
		個別支援経費	60千円
		会計年度任用職員報酬	1,927千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：あそびのひろば事業

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就学前児童と保護者（主に開催地区周辺）  
 【実施地区】12カ所（朝日町、ゆめみ野東町、見晴台、豊幌、元江別、東野幌本町、野幌町、野幌代々木町、大麻沢町、大麻東町、文京台、東野幌町）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	就学前児童数	人	4,639	4,783	4,783	4,810
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

対象のうち特に交通手段等により、子育て支援センターをなかなか利用できない子育て家庭などのため、自治会館や地区センター等の身近な場所において子育てセンターと子育てボランティア（子育てサポーター等）が連携した出前型子育て支援事業「あそびのひろば」を実施する。  
 ※子育てサポーター：平成16～17年度に市が独自に養成した子育てボランティア

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	あそびのひろば実施数	箇所	13	12	12	13
活動指標 2	子育てサポーターの延活動人員数	人	87	78	21	50

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子どものあそび場や子育て世代の交流の場の提供及び子育てに関する情報提供、育児相談等により、子育てに対する悩みの解消や子育て世代の交流を促進するとともに、子どもの健やかな育ちを支援し、安心して子育てができる環境を整備する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	あそびのひろば参加組数	組	1,064	993	540	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	2,502	2,465	2,666	2,951
正職員人件費 (B)		千円	10,296	8,456	8,515	8,362
総事業費 (A+B)		千円	12,798	10,921	11,181	11,313

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯に対するあそび場の提供</li> <li>子育てに関する相談</li> <li>子育てに関する情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬 2,196千円</li> <li>消耗品費 206千円</li> </ul>	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ファミリー・サポート事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の支援を必要とする概ね小学校6年生までの児童を含む家庭

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	子育て中の支援を必要とする家庭（概ね小学校6年生までの児童）の数	人	242	220	232	234
対象指標 2	12歳未満の児童数	人	10,284	10,457	10,457	10,571

手段（事務事業の内容、やり方）

援助を行う人と求める人とで会員組織をつくり、ニーズに合わせ援助内容を調整し、子育ての支援を有償のボランティアで実施する。会員同士を調整するために、センターを設置し、マネージャーが統括する。（委託事業）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	登録会員数（依頼会員・提供会員）	人	751	792	787	774
活動指標 2	支援活動の対象となった児童数	人	242	220	122	234

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て家庭が安心して育児就労できるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支援活動件数	件	1,356	911	554	1,165
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	4,782	4,940	4,895	5,093
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	5,545	5,709	5,669	5,853

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	依頼会員の依頼受付及び提供会員の活動に係る調整等の業務の委託及び「こんにちは赤ちゃん事業」での無料利用券配布	事業を実施する団体への委託料	5,085千円 無料利用券 8千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ひとり親家庭自立支援教育訓練給付事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭の母又は父子家庭の父

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童扶養手当受給資格者数（12月末）	世帯	1,085	1,063	1,063	1,011
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

申請に基づき面談や審査を行い、自立支援教育訓練が就職に必要と認めた者に対し、受講料の一部を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	年間審査件数	件	5	6	4	6
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ひとり親家庭における父母の主体的な能力開発の取組を支援することで自立の促進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	給付事業を利用した就労者数	人	5	6	4	6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	265	275	423	364
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,028	1,044	1,197	1,124

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	受講費用の一部を助成する。	受講費用一部助成 364千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ひとり親家庭高等職業訓練促進事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭の母又は父子家庭の父

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童扶養手当受給資格者数（12月末）	世帯	1,085	1,063	1,063	1,011
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

申請に基づき面談や審査を行い、対象資格の取得が見込まれる者に高等職業訓練促進費を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	促進事業利用者数	人	8	9	9	7
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

安定した収入を得る可能性の高い資格の取得を容易にすることで、母子家庭等の自立の促進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	促進事業で取得した資格に関連する職業に就職した者の数	人	2	3	4	4
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	9,282	11,652	11,190	10,402
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	774	760
総事業費 (A+B)		千円	10,807	13,189	11,964	11,162

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	資格取得のために高等職業訓練促進費を支給する。	高等職業訓練促進給付金	10,202千円
		高等職業訓練修了支援給付金	200千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：こんにちは赤ちゃん事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

4か月未満の乳児とその保護者  
 ※転入者については1歳未満の乳児とその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	4か月未満の乳児をもつ保護者数	人	672	742	704	700
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

主任児童委員を中心に全戸訪問を行う。  
 市内企業等より、子育て支援の協賛品等の提供を受け、訪問時に配布する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	家庭訪問件数	件	655	714	677	700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生後4か月を経過しない乳児のいる全家庭に対して、子育てに関する情報が提供されるとともに必要な支援が受けられるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	家庭訪問達成率	%	97	96	96	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	1,445	1,554	1,672	1,662
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	2,208	2,323	2,446	2,422

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	主任児童委員を中心に新生児宅を全戸訪問する。	訪問事業実施に係る委託料 1,662千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：親と子の絵本事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成20年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

4か月未満の乳児とその保護者  
 ※転入者については1歳未満の乳児とその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	4か月未満の乳児をもつ保護者数	人	672	742	704	700
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「こんにちは赤ちゃん事業」との連携により、主任児童委員を中心に対象家庭を訪問し、絵本を配布する。また、4か月健康診査において、情報図書館の協力により、絵本の読み聞かせや絵本紹介を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	家庭訪問件数	世帯	655	714	677	700
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

絵本の読み聞かせにより、親子のコミュニケーションの時間を作ることで、豊かな情感の交流やゆとりを親子にもたらしとともに、子どもの読書を考える契機とする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	家庭訪問達成率	%	97	96	96	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	779	799	801	797
正職員人件費 (B)		千円	763	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,542	1,568	1,575	1,557

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	「こんにちは赤ちゃん事業」との連携により、対象家庭を訪問し絵本2冊を配布する。	絵本等の購入経費 797千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て支援夜間養護等事業（トワイライトステイ） 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童と保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	一時的に児童の養育が困難となった世帯の児童数	人	0	0	2	2
対象指標 2	18歳未満の児童数	人	16,720	16,834	16,834	16,780

手段（事務事業の内容、やり方）

保護者が、仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となる家庭において児童を養育することが困難となった場合及びその他の緊急の場合において保護し、生活指導、食事の提供等を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	委託している児童養護施設等の数	施設	1	1	1	1
活動指標 2	養護相談件数	件	265	252	260	260

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

保護者が一時的に児童の養育が困難となった場合でも、児童を預けられることにより、安心して子育てと仕事の両立ができるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童養護施設等を利用した児童の延べ利用日数	日	0	0	0	6
成果指標 2	児童養護施設等を利用した児童数	人	0	0	0	2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	11	11
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	398	391

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	保護者が一時的に不在となる家庭の児童を養育・保護する。	受け入れ施設への委託料 11千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：病児・病後児保育事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

病児・病後児保育を必要とする児童と保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	病児・病後児保育登録児童数	人	416	417	640	640
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

子どもの疾病により、家庭内保育を要する場合にも安心して子どもを預けることのできる病児・病後児保育を実施する事業所に対し、その運営費の一部を補助する。  
 【事業所】市内2事業所  
 【補助金の根拠】「江別市病児・病後児保育事業補助要綱」

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	実施施設に対する補助金	千円	21,102	19,415	34,638	32,055
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子どもが病気の際の保育需要に対応することで、子育てと仕事の両立が支援される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	病児・病後児保育延べ利用者数	人	1,404	1,306	372	2,006
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	21,102	19,415	34,638	32,055
正職員人件費 (B)		千円	2,669	2,690	2,709	2,661
総事業費 (A+B)		千円	23,771	22,105	37,347	34,716

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	病児・病後児保育運営経費の補助	病児・病後児保育運営経費の補助 32,055千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：養育支援家庭訪問事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

養育支援が特に必要とされる家庭

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	養護相談件数	件	265	252	220	260
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

関係機関等の連絡等により、養育支援が特に必要とされる家庭に対して、保健師やヘルパー等が家庭を訪問し、養育に関する支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	養育支援家庭訪問ケース会議数	回	12	5	11	11
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

当該家庭を適切な養育状態にする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	育児支援に関する専門的支援数	件	158	133	161	161
成果指標 2	育児・家事支援数	件	65	30	45	62

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	274	136	324	318
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	774	760
総事業費 (A+B)		千円	1,418	1,289	1,098	1,078

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	養育上必要とされる家庭に保健師やヘルパーが訪問支援を行う。	支援員派遣委託料 302千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：親子安心育成支援事業（子育てひろば事業）

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以下の児童とその保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小学生以下の児童数	人	10,284	10,457	10,457	10,571
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

子育て支援の拠点及び市外の子育て世代を対象とした交流人口の拡大を図るため、商業施設内に子育て支援センターの機能である子育て相談や子育てに関する講習会等の開催、子育て情報の提供等を行う、通年全天候型の子育て支援施設を開設する。また、子育て中の親のリフレッシュを図るため託児サービスも提供する。  
 【名称】子育てひろば「ほこ あ ほこ」  
 【所在】江別市野幌町10-1 イオンタウン江別2F

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	子育て支援事業実施数（ひろば開放日数）	日	345	311	273	349
活動指標 2	子育て相談件数	件	5	30	45	40

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

通年全天候型の子育て支援を開設することにより、多様な子育てニーズに応えるとともに、子育て相談や子育てに関する講習会、託児サービス等を通じ、子育て家庭の負担軽減とリフレッシュを図り、安心して子育てができる環境を整備する。また、市外の子育て家庭の利用により交流人口の拡大に繋がることから人口減少対策の推進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	ひろば延べ利用者数	千人	83	74	30	50
成果指標 2	託児延べ利用者数	人	706	613	150	300

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	26,314	25,385	26,687	28,838
正職員人件費 (B)		千円	10,678	8,840	8,902	8,742
総事業費 (A+B)		千円	36,992	34,225	35,589	37,580

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世帯の交流およびあそび場の提供</li> <li>子育てに関する相談</li> <li>子育てに関する講習会等の開催</li> <li>子育て情報の提供・発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>報酬</li> <li>光熱水費</li> <li>委託料</li> <li>賃貸料</li> <li>補助金</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9,984千円</li> <li>1,278千円</li> <li>8,725千円</li> <li>3,572千円</li> <li>2,880千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：あかしや保育園管理運営事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

あかしや保育園

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	施設数	ヶ所	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	指定管理料	千円	8,529	8,696	8,924	9,042
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適正な施設の維持管理が行われることで、安心して安全な保育運営ができるようにする。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	運営上支障が出た日数	日	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	8,529	8,696	8,924	9,042
正職員人件費 (B)		千円	1,144	769	774	760
総事業費 (A+B)		千円	9,673	9,465	9,698	9,802

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	施設の維持管理経費	指定管理料	9,042千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ひとり親家庭等医療費助成事業

医療助成課 医療助成係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市内に居住するひとり親家庭の父又は母と児童（重度心身障がい者の父又は母のいる家庭及び両親が死亡又は行方不明等の事由がある児童を養育している家庭を含む）  
 ※児童：18歳未満。ただし20歳未満で扶養されている児童を含む

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	ひとり親家庭等医療受給者数	人	2,932	2,846	2,932	2,735
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

（助成範囲）

- ①児童：通院・入院・指定訪問看護
- ②父・母：入院・指定訪問看護

（助成内容）保険適用医療費の自己負担分を一部助成。

- ①未就学児・住民税非課税世帯の入院医療費、小学生の課税世帯の入院医療費：初診時一部負担金を控除した額
- ②上記以外の者：自己負担分から1割を控除した額（月額上限額 入院57,600円《多数回44,400円》 通院18,000円《年間上限額144,000円》）

（やり方）本人の申請に基づき資格審査をし、受給者証を交付。医療機関に受給者証を提示することにより助成。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	ひとり親家庭等医療費給付額	千円	37,682	36,094	35,534	38,300
活動指標 2	ひとり親家庭等医療費受診件数	件	17,709	17,496	16,169	18,760

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ひとり親家庭等の医療費の負担軽減を図り、母又は父及び児童の健康を保持し、安心して暮らすことができるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	ひとり親家庭等医療費1人あたり年間平均受診件数	件	6	6.1	6	6.9
成果指標 2	ひとり親家庭等医療費年間1人あたりの医療費	円	12,852	12,683	13,239	14,004

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	37,682	36,094	40,950	38,300
正職員人件費 (B)	千円	6,102	6,918	6,967	6,842
総事業費 (A+B)	千円	43,784	43,012	47,917	45,142

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	ひとり親家庭等の父又は母と児童の医療費自己負担分一部助成	医療費 38,300千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：待機児童解消対策事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		具体的施策	(1) 未就学期児童への支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保育が必要な児童のうち、入所出来ない児童（待機児童）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	保育を必要とする児童	人	1,541	1,683	1,863	1,963
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

保育の提供体制を確保するため、国の進める「子育て安心プラン」に参加し、施設整備を支援する。また、保育の質を維持・向上するため、保育従事者の養成等の人材確保を行うことで、「えべつ・安心子育てプラン」の具体化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	保育施設の利用定員数	人	1,534	1,689	1,732	1,854
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

提供体制の拡充や保育の質の維持・向上を図ることにより、待機児童が解消され、安心して子どもを預け働くことができるような環境づくりと子育て支援の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	待機児童数（4月1日現在）	人	96	88	151	130
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	311,938	2,280	18,149	22,754
正職員人件費 (B)		千円	11,441	5,765	5,806	5,702
総事業費 (A+B)		千円	323,379	8,045	23,955	28,456

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	子育て支援員の養成、保育従事者確保のための各種事業を行う	子育て支援員研修実施経費	742千円
		保育人材確保に係る民間事業者向け補助	21,712千円
		保育士確保策周知経費等	300千円

3年度への改善方向性(2月時点)

改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：子育てサービス利用者支援事業

子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策			
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子育て中の保護者等

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 就学前児童数	人	4,639	4,783	4,783	4,810
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市子ども・子育て利用者支援事業実施要綱に基づき、子育て支援コーディネーターを配置して、教育、保育、保健その他の子育て支援情報の収集及び利用者のニーズに応じた情報の提供並びに利用者からの相談に応じた必要な助言等を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 子育て支援コーディネーターの活動日数	日	245	240	244	242
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域の子育て家庭にとって適切な施設（教育・保育施設）や子育てサービスを円滑に利用できるようにする。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 相談件数	件	833	973	950	950
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	3,742	5,547	4,747	4,915
正職員人件費 (B)	千円	1,144	1,153	1,161	1,140
総事業費 (A+B)	千円	4,886	6,700	5,908	6,055

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・子育てに係る相談業務 ・教育・保育・保健等の子育て情報の提供	・報酬 3,507千円 ・印刷製本費 638千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

母子家庭の母又は父子家庭の父等

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	児童扶養手当受給資格者数（12月末）	世帯	1,085	1,063	1,063	1,011
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

申請に基づき面談や審査を行い、適職に就くために必要であると認められた者に受講料の一部を支給する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	年間審査件数	件	0	0	0	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

高等学校卒業程度の学力が認められ、職業選択の幅を広げることで、ひとり親家庭の自立促進を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支援事業を利用した者の件数	件	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	150	150
正職員人件費 (B)		千円	381	384	387	380
総事業費 (A+B)		千円	381	384	537	530

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	講座受講費用の一部を助成する。	受講費用一部支給 150千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て情報電子配信事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

妊婦及び乳幼児の保護者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	出生数	人	587	626	626	638
対象指標 2	未就学児	人	4,705	4,816	4,705	4,816

手段（事務事業の内容、やり方）

母子健康手帳を補完する民間事業者のスマートフォン無料アプリを活用し、子育てサービス情報を配信する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	事業費	千円	648	654	660	660
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育てサービス情報を時代のニーズに合わせて配信する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	アプリ利用者数	人	830	1,150	1,411	1,700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	648	654	660	660
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,153	1,161	1,140
総事業費 (A+B)		千円	1,792	1,807	1,821	1,800

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	主な機能 ・子育て関連ニュース ・イベント情報配信 ・母子手帳補完（電子母子手帳）	運用保守経費 660千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：放課後児童クラブ待機児童対策事業 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

放課後児童クラブの待機児童

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	放課後児童クラブの待機児童（4月1日現在）	人	51	23	31	27
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

待機児童を対象として、学校から直接児童センターへの来館を可能とするランドセル来館を実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	ランドセル来館を実施する児童センター	か所	2	1	1	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

待機児童が放課後安全に過ごすことができる場所を提供し、児童の健全育成と保護者の就労を支援する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	ランドセル来館登録児童	人	30	15	23	27
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	3,669	1,841	4,633	4,180
正職員人件費 (B)		千円	2,288	1,537	1,548	380
総事業費 (A+B)		千円	5,957	3,378	6,181	4,560

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	放課後児童クラブの待機児童が、学校から直接児童センターに来館することができるランドセル来館を実施する。	会計年度任用職員報酬・諸手当等 4,169千円	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て支援センターぼろっこ管理運営事業 子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育	戦略	
取組の基本方針	01 子育て環境の充実	具体的施策	
開始年度	—	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	補助
			補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

ぼろっこ周辺の子育て世帯

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 就学前児童数	人	4,639	4,783	4,783	4,810
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の親子が自由に遊べるひろばの開放、子育て相談、各種講習会等の実施

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 開設日数	日	251	215	217	246
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て世帯の交流や学びの場を提供することにより、地域で安心して子育てができる環境を提供する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 年間延べ利用者数	人	5,591	4,913	3,314	3,690
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	3,998	4,488	2,620
正職員人件費 (B)	千円	0	384	387	7,982
総事業費 (A+B)	千円	0	4,382	4,875	10,602

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 子育て支援センターぼろっこの運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬・手当 2,322千円</li> <li>・需用費等 110千円</li> <li>・役務費 40千円</li> <li>・備品購入費 37千円</li> <li>・旅費・負担金等 111千円</li> </ul>

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：子育て支援センターすくすく管理運営事業 子ども育成課参事（子育て支援センター）

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就学前児童とその保護者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 就学前児童数	人	4,639	4,783	4,783	4,810
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

子育て支援拠点事業を実施する子育て支援センター「すくすく」の運営及び施設の維持管理を適正に実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 開設日数	日	251	226	219	253
活動指標 2 施設の維持管理委託費	千円	1,279	1,282	1,333	1,325

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理と運営を適切に行うことで、地域の子育て機能を充実させる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 年間延利用者数	人	11,725	9,019	6,820	7,000
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	2,953	3,531	3,416
正職員人件費 (B)	千円	0	14,990	15,095	14,824
総事業費 (A+B)	千円	0	17,943	18,626	18,240

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・子育て支援センターすくすくの運営 ・子育て支援センターすくすくの維持管理	・報酬 799千円 ・消耗品費 140千円 ・光熱費 437千円 ・委託料 1,325千円 ・備品購入費 87千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子ども家庭総合支援拠点運営経費 子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもとその家族及び妊産婦

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	18歳未満の児童数	人	0	0	16,834	16,780
対象指標 2	出生数	人	0	0	626	638

手段（事務事業の内容、やり方）

福祉、保健・医療、教育等の関係機関と連携しながら、子ども家庭支援全般に関する業務や要保護児童等への支援業務などを行うとともに、これらの業務に従事する人材の確保・育成を行う。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	江別市家庭児童対策地域協議会の連絡会議・事例検討会議等の開催回数	回	0	0	42	44
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童に身近な基礎的な地方公共団体として、児童の心身の健やかな育成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	虐待等延相談対応回数	回	0	0	1,200	1,200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	6,549	7,087
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,645	4,561
総事業費 (A+B)		千円	0	0	11,194	11,648

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	子ども家庭支援員等による相談・支援スキルアップ研修への参加	子ども家庭支援員等の報酬等	6,914千円
		スキルアップ研修参加経費	96千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て世代包括支援事業

健康推進室参事（子育て世代包括支援）

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		具体的施策	(1) 未就学期児童への支援			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の妊産婦と夫、乳幼児とその保護者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 妊産婦と夫、乳幼児及びその保護者	人	0	6,412	6,397	6,451
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ①子育て世代包括支援センターの設置・運営  
健康推進室（母子保健型）と子育て支援室（基本型）の連携により、母子手帳交付時に妊婦面接と支援プランの作成を行うほか、巡回型親子健康相談、個別ケア会議等を実施する
- ②産婦健康診査の事後支援の実施  
受診票を交付し、概ね産後1か月未満の産婦を対象に、北海道と道医師会とで契約した医療機関にて産婦の健康状態の確認、産後うつ等の早期発見のための健診を実施する。
- ③産後ケア事業の実施  
家族等からの援助が受けられず、心身の不調、育児不安がある産後4か月未満の産婦とその乳児を対象に委託した助産院等にて、助産師による相談や授乳・育児指導を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 妊娠届出時の面接数	人	0	454	665	692
活動指標 2 巡回型親子健康相談の相談件数	人	0	246	251	480

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を受け、安心して妊娠、出産、子育てができる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 妊娠期支援プラン作成率	%	0	100	100	100
成果指標 2 子育て環境が充実していると思う市民割合	%	0	56.2	52	53

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	13,597	10,044
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,741	9,122
総事業費 (A+B)	千円	0	0	21,338	19,166

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・子育て世代包括支援センターの運営 ・専門職による妊娠届出時の面接・相談・支援プランの作成 ・地域あそびのひろばでの親子健康相談 ・産婦健康診査事後支援・産後ケア事業の実施 ・個別ケア会議、保健・医療・福祉の関係機関との連絡調整	・会計年度職員報酬（保健師・助産師等） 5,760千円 ・産後ケア事業委託料 2,538千円 ・子育て世代包括支援情報共有システム経費 832千円 ・母子健康手帳・妊娠届出時配布資料 537千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和2年度まで「子育て世代包括支援事業」に計上していた「産婦健康診査経費」を、保健センターが所管する「妊婦健康診査経費」と事業統合し「妊産婦健康診査経費」と名称変更して担当に所管替えを行った。 これにより、妊娠期からの切れ目のない支援を支える重要な健診事業の事務・業務の効率化を図り、健診結果の事後管理・支援については「子育て世代サポートえつ」にて一体的に実施する体制とする。

事業名：江別市平和のつどい開催経費

管理課 総務係

政策	99 政策の総合推進			戦略			
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策			
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（特に市内の小中学生）・戦没者遺族

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,510	119,883
対象指標 2	遺族の人数	人	71	69	69	62

手段（事務事業の内容、やり方）

平和都市宣言及び平和の碑の建立を受けて、平和事業の一つとして、平和のつどいを開催する。  
献花、黙祷、宣言文宣誓等。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	案内状発送件数	件	211	207	0	207
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民全体で、戦没者の追悼を行い平和を祈念する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	式典出席者数	人	243	258	0	258
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	600	898	1,036	1,042
正職員人件費 (B)		千円	3,051	6,150	6,193	6,082
総事業費 (A+B)		千円	3,651	7,048	7,229	7,124

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	江別市平和のつどいの開催 （献花、黙とう、児童からの折鶴贈呈等）	花束、折紙等の消耗品	151千円
		式典開催業務委託費	739千円
		自動送迎タクシー料金	124千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	